京城日報

京城太平通一丁目 發行所 合資會社京城日報社
發行兼編輯人 小川三之助
印刷人

五月一日夕刊 (朝刊併せて八頁)

◇大膽なる獨の回答
會議或は不成立か
講和委員派遣不必要

獨逸講和委員招致に對する獨逸の回答は世人を驚愕せしめたり獨逸は獨逸が眞正の講和委員を派遣する必要を見ずとの確信を表示するものと見做さる若し獨逸が今日の決心を固守せばヴェルサイユのプログラムは根柢より覆へされ竟に豫備講和會議の不成立を見るに至るやも知れずと觀測さる(巴里電報)

◇守成同盟計畫か
ライン地方に=英佛米三國

英、佛、米三國間に於てライン地方にのみ適用さるゝ守成的同盟計畫進捗中なるが右は獨逸が講和條約に違反する場合は即時陸海軍の行動を開始す可きことを規約すべきものなりと佛國側に於いて傳へらる(巴里電報)

◇陳述贊成說誤報

英、佛首相がウイルソン氏の陳述書に贊成せりとの說は誤報にて兩首相は其發表を延期せん事を求めたるなり而して兩首相は各自の見解を記せる陳述書を伊國首相オルランド首相に交附せる旨發表されたり(巴里電報)

◇財政委員設置協議

米國大統領ウイルソン氏英國首相ロイドジョーヂ氏佛國首相クレマンソー氏は二十六日朝財政專門家を招致し獨逸の講和條約履行賠償支拂を監督する爲め財政委員設置の件を協議せり(巴里電報)

◇青島即時解決希望
之れが方法間然する所なし
對獨調印迄延期提議は誤報

青島問題に關し世間往々誤解あり右に就き牧野男は曰く日本委員が本國政府に對し之れが問題の解決を對獨調印後迄延期するに同意せん事を求むる提議を爲したりと云ふは誤報なり日本は熱烈に問題の即時解決を希望す尚講和會議に關係ある方面の一般の意見は日本の希望する問題の解決法は間然する所無き迄に正當なりされば若し日本にして他の即時解決を主張するに於ては日本の希望に一致すべき決定を見ん事間違ひ無かるべしと(巴里電報)

◇膠州灣割當要求
四頭會議と獨領土拋棄規定

英國側に於て傳へらるゝ所に依れば四頭會議は講和豫備條約中に獨逸をして歐洲以外の領土の總てを拋棄せしむる一般的處分を規定し其的確なる處分は追つて之を解決せんと企居るも這は日本に取りて不滿足なり即ち日本は支那が膠州灣を直接獨逸に還附せんことを要求したるに鑑み膠州灣は之れを日本に割當つることを明示する條約を加へんことを要求せり(巴里電報)

◇獨權利消滅明記
日支兩國權利解決は後日に讓る

四頭會議は山東問題に關する日本の要求を聽取することを打ち切るに決し單に講和條約に支那に於ける獨逸の權利消滅を明記し獨逸租借地に對する日支兩國の權利解決は之れを後日に讓ることに一致せり但右解決延期は日支兩國委員の贊成を得て成立すべく兩國委員は各自本國政府が之れに同意するならんと信ずる旨を答へたり此延期に依りて日支兩國相互の權利を最後の講和條約に依りて決定するか或は國際聯盟中に於て決定するか不明なり(巴里電報)

◇米紙と增兵說

巴里發其筋著=廿三日紐育ヘラルド紙に左の記事を掲載せり(東京特電)近時朝鮮支那に於て日米間に感情の衝突起るや米國陸軍省は支那、布哇、比律賓、巴奈馬運河地帶に守備として約一萬人增員の目的を以て動員せり

◇外調會開會

外交調査委員會は卅日午後二時より首相官邸に開會されたり(東京特電)

◇杉山總長出發

杉山關東廳事務總長は卅日午前八時卅分東京驛發赴任せり(東京特電)

◇九州視察團通過

九州實業家鮮滿支那視察團一行三十二名は一日朝釜山上陸十時急行列車にて京城に向ふ(釜山特電)

◎平等案と列國態度(一)
侯爵 大隈重信氏談

世界は此度の大戰を楔子と爲して今や一大回轉を爲さんとしてゐる即ち羅馬人は久しく世界征服の野心を抱き聽ては全世界の人類をして盡く自己の軛の紲を結ばしめんとする事が

▲彼等の理想であつた然るに千四百五十三年コンスタンチノープルの陷落と共に其の覇業は朝宵一刻の夢と許り淡くも消ね去つて仕舞つた即ち此の千四百五十三年は是れを楔子として時代が一回轉し近世紀に入るので後世史家は目して中世期と近世期とを劃する分岐線としてゐるのであるが然らば千九百十四年は其後四百五十年間繼續し來れる歐洲の思想を一變して是より新文明を導き來たらしめんとする轉機たるが故に其の歷史的

▲重要の意味に於て前者と類を同うし而して同人類の理想たる世界の永久の平和に近接するの大なる事に於ては到底同日の談に非ざるを信ぜしむるのである然らば今後の世界は如何に成るべきかといふに言ふ迄も無く一に正義人道に依つて國際間の道德が導かれる樣にならなければならぬ而して此正義人道を國際間に適用して考へれば人種の共同生存といふ事になる從來は國內にのみ共同生存の必要を考へ國際間には殆んどこれを顧みなかつたそこで利益の爲め又は

▲自國の名譽の爲め又は存在の爲めとかに藉口して很道なる戰ひを敢て行ふ場合も尠くはなかつた即ち國內に於て道德の必要なると同じく國際間にも完全なる道德の必要があり國內に全國民の共同生存の必要なると同じく國際間にも亦全人類の共同生存の必要があるのである之を經濟上の用語を假りて言へば即ち有無相通である天然資源の豐富な處から其の貧少なる處へ

▲物資を供給すると同時に又人口過多なる處から其稀薄なる處へ人口を移植する此の如くする事が自由を得る處に初めて人類の共同生存なるものが可能であると是れが國際間の原則でなければならぬ若此の原則を妨けて其の實現を不可能ならしめんと謀るものがあれば茲に怨恨忌はしき大葛藤を生ずべき事は古今の史乘に徵して明瞭なる事實である(東京支局)

◎實質上の自由
蓋し甚大
桑港クロニクル評論

桑港クロニクル社說=朝鮮の騷擾は決して虐政の結果にあらず民族自決主義の結果たる事疑ひなし凡そ自由を得んとする奮鬪は文明諸國の同情的興味を喚る事常なるも朝鮮は物質的幸福に付日本に負ふ所多大なり若し自由を樂まんとせば先づ自存せざるべからず借問す朝鮮人に安寧立命を與へたるもの日本を措きて他に在りや朝鮮人の受けたる利益頗る大なるは言を俟たず即ち產業の勃興諸事業の擴張及び衞生の改良等之れなり假令朝鮮人は其の欲する形式上の政治的自由を得ざるも其の幼稚なりし昔日の經濟生活に比し實質上の自由を得たる事甚大なるものあり

◎京城地價の昂騰
最近の上向=土地熱の中心
=金融の疏通=今後の大勢

京城に於ける地價は時に一高一低あれど大體に於て逐年騰貴し來り殊に市區の改正に伴ふ新道路面接地の如き

▲意外の新値を吹き居れる模樣なるが殊に最近五六ヶ月間に地價は概して四五割高を示すに至れる如し右に就き某銀行家の談を聞くに地價の最近著しき上向を示したるは(一)殖產銀行の土地金融を隨分思ひ切りたる態度に出でつゝある事を數へ得べし素より全部を然りと云ふにあらず又申込者の信用關係もあるべきが同行に於ては最近賣値以上に貸出しをなせるものもありその地價評價の如きも將來の昂騰を善意に見込みて之れに金融を附し居れるやうなり要するに殖銀の開業後

▲土地金融の著しく疏通せるは爭ふべからざる如し(二)財界の膨脹著しきが休戰後內地と朝鮮を問はず商界の警戒大いに加はれるは蔽ふ可からざる事實なり從つて銀行の商品貸出しの如き十二分に戒めつゝあるを以て一般の資金需要は土地並に證券を極度に利用して之れを得るを必要とするに至れり然も證券の市中在高は必ずしも多からず結局土地の金融は不動產銀行ならざる市中銀行にても隨分發展して附しつゝある如し手形書換繼續の形式にて(三)更に

▲京城地價は某々地方を除けば前途昂騰の面白味ある所多し從つて一昨年より昨年に亘り各種の方面に於て利得したる者の中市街地投資の堅實有利なる目論見を立てしものあり又內地大都市に於ける土地放資にてウマ味を吸ひたるもの、中京城土地の將來に着目し徐々投資を試みつゝあるも二三ならず(四)南大門通りの如きは大建築の著手されしもの並に著手されんとするもの少からず之等は自然町並の地價を昂めつゝあり以上の如き理由にて漸次地價の好勢を見居れり素より此の勢ひを以て昂騰一方を續くるならんとは斷じ難けれど然し時に一高一低の波瀾を來すことあれ大勢の上向きにある事は京城の地勢前途の發展豫測より推して疑ひなし又目下最も土地熱の中心は南大門通りなれど次には總督府の前途よりも見居れる如く又市勢の前途より見れば永登浦鷺梁津方面が京城の地なきに付漸次龍山方面に擴大し行くものと見て大過なからん更に

▲押目なく

▲記錄幾何 なるやと云ふに昨今の地價の南大門通の中心並に鐘路附近は坪四百四十五十圓を唱へ居れど實際の取引は三百七八十圓見當ならん現に殖銀の買入れし同行左右の土地は三百四五十圓なりし如し本町方面は一丁目より三丁目の永樂町筋までならば坪二百圓以下には評價されず然し總督府の移轉官舍の北方移轉を見越さば之れ以上の伸方は多く望まれざるべきか最も割安にして又最も有望なるは太平通ならんが取引は區々にして見當をつけ難し然し町並は百圓以下にては到底買物なしとの事なり

◎牛市場開放停止
制限解除

大正八年總督府令第二十二號流行性鵞口瘡豫防に關する件中改正の件は二日の官報にて發布即日より施行のことゝなれるが右は咸南定平及び高原二郡は流行性鵞口瘡既に終熄したるを以て牛其の他の出入及び牛市場開設停止の制限を解除し又黃海道に於ても殆んど終熄の狀態に在るを以て同じく牛市場開設停止の制限を解除せらるゝ者なり

◎本年移民割當

東洋拓殖會社にて最近募集を開始せし第十回移民は既報の如く第一種自作移民七百戶第二種地主移民五十戶合計七百五十戶にてその申込締切りは來る九月三十日となり居れるが土地選定の結果その各道割當ての豫定を聞くに左の如く咸北を除く各道となり居れり

▲京畿道 第一種百十八戶第二種六戶合計百二十四戶
▲忠淸北道 第一種二十戶第二種四戶合計二十四戶
▲忠淸南道 第一種八十七戶第二種五戶合計九十二戶
▲全羅北道 第一種一百二十八戶第二種八戶合計百三十六戶
▲全羅南道 第一種百零二戶第二種六戶合計百零八戶
▲慶尙北道 第一種四十八戶第二種六戶合計五十四戶
▲慶尙南道 第一種五十六戶第二種五戶合計六十一戶
▲黃海道 第一種九十九戶第二種九戶合計百零八戶
▲平安南道 第一種八戶
▲平安北道 第一種十戶
▲江原道 第一種十戶
▲咸鏡南道 第一種十四戶第二種一戶合計十五戶

◎取引所株好勢

一時不案の念を抱かしめたる仁川米豆取引所增資問題も去る廿六日總督府の認可を得ると同時に正式に新株申込の受附を開始せられしが申込者其後益々增加し增資委員は新株の割當に困難を來し再三協議せし結果應募者に對する按分比例的割當を爲して圓滿に卅日午後四時迄に申込を完了せしめたるが新株拂込二十五圓プレミアム四十圓以外に五圓より七八圓のプレミアムを附して買收を行ふものあり殆ど競爭の好況を呈しつゝあるは仁川米豆取引所の前途有望なる推定に依りて十圓乃至十五圓のプレミアムを見るべき形勢なり(仁川)

◎京畿營農者戶口

大正七年十二月末日現在京畿道に於ける農業從事者調査を聞くに內地人一千六百九十戶、人口七千五百二十一名、鮮人二十四萬千三百六十九戶、人口百廿五萬四千七百八十九名、支那人百七十二戶、四百四十三名、其他外國人一戶、四名にして合計戶數二十四萬三千二百三十三戶、人口百二十六萬二千七百五十七名なり。而して前年に比し鮮人戶數二千十二戶を減じたるは高陽、坡州各郡に於て前年調査の誤謬ありたるものなるが昨年以來の影響を受け農產物の價格昂騰したる爲め、中農以上に在りては俄に收入增加し勢ひ土地に對する投資を促進せしめたると一面自作小農及び小作農等に在りては物價の昂騰も自家の收入に影響する所少きのみならず却つて物價昂騰の爲生活に困難を生じたる反面勞働者拂底と勞銀の騰貴は之等の者をして農村より去らしむるの傾向を生ぜり又前年に比し專業者八千三百七十四戶減じ兼業者六千三百五十戶を增加したるが之は小農者が農業の傍、商業漁業並に勞働に從事する者增加したる結果なりと

◎換算率變更

露貨鮮滿連絡の結果二十七日より日滿貨物連絡に適用する日露貨幣換算率は百圓に付一千二百留とする旨滿鐵京城管理局に通知ありたり

◎立花中將赴任期

立花關東軍司令官は三日東京出發赴任す可しと傳へられしが延期して十日前には出發せずと某所に通知ありたりと

◎出張辭令 (四月三十日附)

總督府技師 湊 幾太郎
調査設計の爲め慶北尙州郡管內へ出張を命ぜらる

平壤鑛業所長 水谷千萬吉
豆形煉炭製造狀況視察及研究の爲め德山海岸煉炭製造所へ出張を命ぜらる

總督府商工課長 牛田甯三郎
炭價問題に就き滿鐵と打合の爲め大連へ出張を命ぜらる

人事消息

▲芳澤大使館參事官 一日朝出發江原方面へ赴く二日夜再入城の筈
▲千葉砲兵少佐 一日朝出城赴任
▲宋秉畯子 四月二十九日東上
▲井上正幸氏(古河商事會社重役) 一日朝釜山上陸直に北行(釜山特電)
▲石田勇氏(專賣課煙草發賣係長) 一日
▲中村辰五郎氏(同上) 同上
▲藤田韓七氏(鐵道販賣役) 同上 五月八九日頃
▲三島太郎氏 殖銀頭取 出發南鮮主要地を巡視すべしと
▲松下東拓理事 二日午後七時五十分著列車にて著任の豫定

◎和平會議と國會問題
北方促進盡力

上海和平會議は引續き法律、財政、軍事各問題に付き審議中なるが最近に至りて國會問題に關し南北諸勢力の脅威を受けて再び

▲會議の停頓を見んとするに至れり始め北京新國會に於ける段祺瑞の機關、安福俱樂部所屬議員の壓迫に依り錢國務總理は北京新國會の維持を言明せるより上海に於ける南北議和代表等は是れ南北兩國會を解散し北京或は上海に適當の方法を以て南北聯合の臨時的國會を召集し之をして民國憲法を制定せしめんとする迄に漕ぎ著けたる和平會議の意思を無視せるものなりとし就中唐紹儀以下南方和平代表等は北京政府の誠意を疑ふに至れるが和平會議以外の南方文治派及び軍人派は之に共鳴し國會問題に關し

▲北方の態度を非難すると共に廣東に於ける舊國會の維持を主張するに至れり即ち廣東軍政府政務總裁中、伍廷芳、唐繼堯、林葆懌の三氏及び四川の熊克武、湖南の程潛、廣西、譚浩明、貴州の劉顯世及び南方波軍及び軍司令官中の錚々たるものは孰れも廣東軍政府の維持を主張し廣東軍政府政務總裁の一人たる孫文氏及び孫洪伊氏の如き極左派は舊國會を維持するは勿論此舊國會をして自由に職權を行使せしむるが如き方法を講じ以て北方派を覺醒せしむべしと主張するに及び從來廣東舊國會の中堅たる政學會を率ひ南北妥協に盡力せる政務總裁岑氏の如きも舊國會解散に反對するに至り又廣東舊國會參議院議長林森、衆議院議長吳景濂、同副議長褚輔成氏以下益友社所屬議員等は連名を以て

▲全國に通電し南方は護法の爲め北方に對し戰端を開けるものなり故に新法に照し合法なる廣東舊國會は之を解散するを得ずと聲明せり形勢右の如くなるを以て和平會議南方總代表唐紹儀氏及び南方實力派の重鎭たる兩廣巡閱使陸榮廷氏等も此上北方と妥協して國會問題を解決せんとする從來の態度を支持するに於ては或は一般南方派の同情を失ふの虞ありとなし和平會議に於て再び舊國會維持に關し強硬に主張せんとする氣勢を示せるが是に於て北京政府は

▲俄に狼狽し現に上海其他各地に會員を有する梁士詒一派の和平促進會、熊希齡一派の和平期成會、蔡元培等進步黨系の組織せる和平聯合會を始め和平策進會其他有らゆる和議促進を目的とせる團體をして南北調停に盡力せしむると共に徐大總統は先頭上京せる北方議和代表、鼎首の外特に弟徐世章及び周自齊等を上海に派遣し非公式に南方總代表唐紹儀と會見し國會問題に關する南北意思の疏通を計らしめ又錢國務總理は吳鼎昌を特使として南下せしめ此程北京新國會に於て新國會維持を言明するに至れる苦衷の程を辯解し北京政府の眞意は依然國會問題に附南北互讓、以て速かに時局を解決せんとするにある旨傳達せしむる等全力を傾注して和議の促進に努め居れり

八面鋒

◆伊國首相オルランド君が、巴里公會に置土產となした白科は、元來になき痛快なる皮肉なりき。古來幾多の聖賢を勞し、哲學者を惱ましたる、正義の裁斷が、突忽として巴里公會に於て、一米人に依つて神の如く捌かれ得るとせば是れ世界開闢以來の奇蹟にあらずして何ぞや。蓋天下の學者も、思想家も、教育家も、批評家も、正義の專賣特許權を一道學的政治家に奪はれたるの觀無きに非ず。果して之れ神聖の正義か公平か。

◆秘密條約を以て、無效となすと云ふは、其の何の意たるかを解する能はず、借問す、何人が巴里公會の一人に、此の如き超歷史的權限を讓與したるか、苟も國家と國家との間に締結せられたる嚴肅なる約束が、第三者の侵入、容喙に依つて忽ち一片の反古紙の如くに破棄せられ得るものとせば、世界の平和、人類の秩序は如何にして保たれんとするか、世界の公道は何に依つて保たれんとするか。最眞目なる得手勝手論者は、故意に世界を破壞せんとするか。

◆非併合非賠償主義は如何、海洋の自由は如何、經濟的城壁の撤廢は如何、即ちウイルソン君の提唱したる、所謂定されたる講和の原則なるものは、今果して何處に存在するか。破壞か、改造か、吾人の唯恐る、處は、獨逸が窃に手を叩きて、冷笑しつゝあるに非ざるかを。破壞ならば徹底的たれ、眞の改造は徹底的破壞の後に來るもの也。

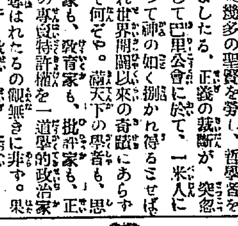
◆山東問題が、專門家の法理的審査となるべしとは興味あり。其の如何なる結論に達するかは、吾人の關知する處に非ず。苟くも專門委員の審査たる以上は、周圍の事情、又は政策の加味せられ、或は之れに依つて牽制せらるゝ等の事なく純正なる法理の命ずる處によりて處斷せらるべきは勿論也。而して純正なる法理の命ずる處が、日本の主張と如何の相違あるやは面白き問題也。

◆但し近世は御都合次第にて伸縮自在の正義が、大手を振つて跋扈する世の中なるが故に、或は法理其物にも伸縮自在の轉換極まりなき公論が飛び出すやも計られざる也。若夫れ日支協約又は交換文書が純法理上より見て、無價値なるものとすれば、一切の國際條約は總て法理上無價値なるやも知れず、專門委員が蛇を造らずんば幸也。

◆誰か帝國を孤立と云ふや、孤立を憂ふる勿れ、孤立の後にこそ眞の朋友を得べし、況んや我には有色人種十億の後援あるに於てをや。聰斷なる哉斷。

キット成功する五十圓の雜貨店

人間が生活上一日も缺く事の出來ぬ日用品は、戰後の原料から見ると下らなくてはならぬのに一向下らぬ、其は下らぬ譯がある市場の問屋を覗いて見給へ、高い絕頂に製造元で居る先づ當分下る見込は無い、そこで本社は各問屋共山積して屋又は仲介の手を經ず戰後の安い原料で、絕體安價に供給の方法製直賣の方法を設けたから、諸君は必ず市價三四割安に各種の日用品が仕入れられ、然も五十圓の資金で無經驗者が樂々と金儲の出來る新組にもある特約專賣店の申込も日々數百に達して居る盛況であるから至急に角希望者は直ぐ返券入東京神田柳原日本通商聯絡株式會社へ申込むと何萬種類の日用品大卸賣價表と營業案內の一冊を送つて來る



活動寫眞器械

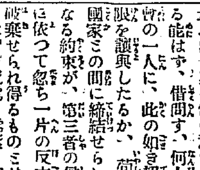
●公衆用 百五十圓以上 各種
●家庭用 八拾圓以上
●少年用 二圓五拾錢以上
▲フイルム 一尺拾錢以上(種々)
活動寫眞常設館又ハ地方巡業用新設ハ特ニ御便利ニ御相談可仕候

幻燈器械

●公衆用 十三圓以上 各種
●家庭用 五圓以上
●少年用 壹圓以上
▲幻燈映畫(教育風俗其他數千種)
○條件は新聞名記入御請求次第送呈(要郵券貳錢)

大阪市西區新町通一丁目
高木商店
電話新町 一〇一九 振替大阪 三四九〇番

醇美淸酒

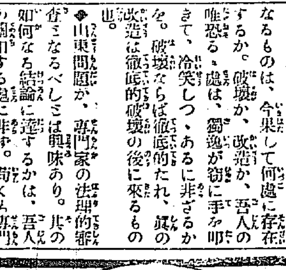


●到る處酒店雜貨店に販賣せり

發賣元
京城南大門通り一丁目
大塚合名會社京城支店
電話四〇一番 振替京城五七〇
●滿鮮支店所在地 釜山、平壤、安東縣、大連

△陸軍拂下

被服類 其他販賣
諸官衙拂下品
和洋衣類拂下品
メリヤス雜貨商
京城漢江通一三三(電話龍山三六番)
佐藤古着店



旅行具專業の
岩田鞄店
京城本町二丁目
(電話五九四番)

BONAMI

理想的磨料 ボンアミー 萬磨料

◎何んでも磨ける理想的磨料

一、硝子、瓷器、鐵、銅、眞鍮、アルミニーム、白銅等の食器及器具類、エナメル、大理石、電球、料理用鍋、ナイフ及フオーク等を磨くには『ボンアミー』
一、各種の陶器、茶碗、洋食皿のあぶら、茶しぶ、洗面器等を淸淨にするには『ボンアミー』
一、ペンキ塗、木製品の汚れには『ボンアミー』を用ゆれば生地を損傷することなし

◎使用法

一、硝子、鏡を磨くには水に浸したる布片にて泡を生ずるまで『ボンアミー』をこすり泡を少しく殘し乾布にて拭取るべし
一、金屬のつや出しは硝子と同樣『ボンアミー』を塗布し錆を溶解するまで金屬をこすり後拭取るべし

各地の有名なる藥店、金物店、荒物店、小間物店、雜貨店、ガラス店等にあり

總代理店 ボンアミー會社朝鮮總代理店
仁川海岸町一丁目
英商ベンネット商會
電話二〇一番

特約販賣店
京城本町二丁目 龜屋商店
京城本町一丁目 明治屋京城支店

◎我統治下に悦服せる
南洋の諸群島（七）
外國人は殆んど退去 混血兒が尊敬される
臨時南洋群島防備隊民政部長 手塚敏郎氏談

占領地にはマラリヤさいふが如き風土病はない。梅毒の如き一種の忌はしき病氣があるやうである。其他十二支腸、肺病の如きものもあるやうであるが、其れは極僅のものであつて、全體からは衛生上良好な傾向に在る土地なのである。然し勞働者としては

脚氣に罹る者
が多いこさは大いに注意すべきである、次に外國人の狀態であるが、多くは退去して了つて僅に二百五六十人位のものである、一番多いのが獨逸それから英國、支那、和蘭、諾威、瑞太利、西班牙さいふ順次になつてゐる、此等のものは布敎に從事するもの貿易業に從事するもの等が主なるものである、長く居つて土人同樣跣足になつてゐるものもある、然し人格其他の點に於て立派なのは少い又內地等から見たならば、一種奇異に感じられるこさは

土人と獨逸人
この混血兒が最も尊敬され且つ好い地位に在るこさである。獨り獨逸人の混血兒のみならず何れの國の混血兒でも、同じやうに尊敬されてゐるこさである。そして勢力をもつてゐるのである。然らば以上の如き狀態に在る南洋諸島か日本人の植民地として果して適當なりや否やさいふ問題である。廣い海の上に小さな島の群が散在してゐるのであり且つ生活上には慣れないさいふ點からして困難ではあるが、將來果して之れが植民地として適するや否や。彼の

北海道の如き
富源の多い土地でも此れが開拓には實に五十年の歳月を要して、はじめて人の住み得るが如き氣分を與へるやうになつて來たこいふ點から鑑みれば、殊に遠く離れてある南洋占領地に於ては、之れを充分開發して行くには可成の年月を要するこさゝ思ふ。別に之れこいつて誇りさするものは今日未だ見當らない、然し開拓したならば少くさも植民地として價値ある點は見出されるこさは疑ひを容れない

散布的に植民
するこしても十萬乃至十四五萬人位は移住するこさが出來るのである。然り南方に於ける立派なる一植民地さなり得るこさは堅く信ずるものである。而も此の南洋占領地を、單に占領地のみと考ふるよりしては、たゞに一植民地に留まるけれども、其周圍の地勢、殊に之を國防上から見たらには如何。恰も青島が、支那大陸の一小半島に過ぎないさいふ

形の上のみで
なくして如何に大なる價値を東洋に於て有するかを世人の何人もが知悉し居れるが如く、此の南洋占領地の諸群島も、南洋に於て大なる價値を實質上多分に有してゐるさいふこさが斷言されなければならない（完）

李王御墓參　(上)咸寧殿玄關より自動車に召されんさする李王殿下(下)御見送りの阿只姫

◎父君在す
金谷へ
李王殿下 久々の御參拜

廿九日夜卒哭祭を終られたる李王坧公兩殿下には一日金谷里洪陵に參拜の旨申出されたり李王殿下御召の自動車には尹德榮侯、李堈公殿下の自動車には金武官御同乘中上村閔長官、國分次官、李朝將、李儀式課長、武藤祭祀課長外賛侍、御附武官等を隨へられ御警衛の憲兵官を先頭に午前十時半德壽宮御發門太平通より鍾路通に出で東門街道を金谷里に向はれ約一時間餘にて同所に御着、內齋室にて御少憩の上直に故李太王殿下の御墓前に進まれ四拜の禮を行ひ給ひ終つて御茶菓あり午後三時半同所御出發四時半德壽宮に御還御成りたるが殿下には御埋葬後始めての御參拜こて御感慨いご深げに拜せられたりこ此日灰色の雲空を閉して日の光りを遮り淨域の青葉哀しく震ふ

◎鮮僧醒む
騷擾に加擔せるは 僅か二名のみ

黃海道地方にては四月中旬僧侶の集會を開き宗務、布敎、僧規並に改育産業等人民の指導に關する事項を協定したるが席上一僧侶は今回の騷擾に對する僧侶の態度を戒むるの講演をなせり其の要旨に曰く佛法の

▽所謂三寶 さは一に國王の恩二に父母の恩三に衆生の恩を指すものなるに近時此の三寶を忘却して國法に悖り今回の騷動に與みし騷擾を敢てせるものあり世間より恰も一般僧侶の參加せる如く認めらるゝは遺憾の次第なるが事實僧侶にして全鮮三十本山の僧侶七千名中此れに加擔せるは曾て

▽梵魚寺に 止住せし事ある某等二名に止れり是等は佛敎に所謂外道坊主なり日鮮は元同族の民にして將來に向つて共同々化すべきものなりこ論じ以て會集を戒飭する處あり將來相互に人心の善導敎化こ佛法の護持に全力を致すべきを誓ひ散會したりこ云ふ

◎大連にも寄らぬ
大谷光瑞師

青島に滯在中なりし大谷光瑞師は近々來連する筈なりし處豫定を變じ三十日青島出帆の西京丸にて門司に至り夫より乘換へ南洋へ向ふ由なり（大連）

◎新聞一つ見るにも
先づ朝鮮の事から
是から朝鮮婦人とも親密に交際したい
昨夜入城した淨法寺、兒島兩將軍夫人の話

三十日夜南大門着の直通列車で淨法寺、兒島兩將軍の家族が見えた。淨法寺中將夫人ひろ子刀自は令息次行(二)ひさ子(九歳)とし子(五)の兩令孃同伴で龍山に降り、兒島警務總長夫人せい子刀自は東京三高等女學校出の才媛德子孃(一八)と共に南大門に降りた。

◇兩夫人は 交々語る。『關釜間の航路は大變樂だこ承はつて居ましたので安心して居ますこ船が段々沖へ進むにつれて揺れ出したので船の嫌いな私達は全く平氣で終つたので御座いますよ。釜山に上陸するこ何だか宙をぴよい〳〵

◇飛んで居る 樣な氣が致しましてまだ快くならないので困つて居ますの、ホホ……。でも子供達は無邪氣ゝ丈けに船暈も少いこ見へてあの通り元氣ですの宅が朝鮮に勤めて居ますので新聞一つ見るにも先づ朝鮮の記事から先に眼を通す位で自ら朝鮮に親しみが出來て居ますから何だか

◇里へでも 歸る樣な氣分が致します。新聞で拜見しますこ朝鮮は騷動が非常に激しいやうですが此地に着いて見るこ全く平穩で私達の想像は悉く裏切られて終ひました、然し車窓から眺めた朝鮮は內地こは餘程趣きが異ひ空氣の滑らかな明るいそうして

◇暢んびり した處こ思ひましたが何處かに又うら寂しいやうな氣分が漂つて居るこも感じました、朝鮮は始めて丈けに見るもの聞くもの總てが珍らしく全く赤毛布のやうで御座いますよ。ホホヽヽ、是からは皆樣の御導きを願つて朝鮮婦人こも親密に交際し度いこ思つて居ます』

◎排天道敎熱
愈昂まる
平北地方の民情 敎徒續々逃走

碧潼郡地方に於ては騷擾勃發の爲め市場取引に及ぼす影響鮮からず爲めに天道敎徒に對する憎惡の念日に昂進し天道敎徒は社會の大罪人なり土地の如きも彼等に小作せしむべからず又牛馬等をも貸與すべからずなし又敎徒中騷擾に參加し貴重の人命を殞したるは其の天罰なりこし自然に交際を避くるの風あり四圍の壓迫に堪へ難く對岸支那地方に避逃する者多き狀況に在り土着せる敎徒の有力なるものに在りても今後一切天道敎こ關係を絕ちたりこ稱し敎義上の文書及び禮拜用の器具を燒棄し一般の信用を恢復するに汲々たる有樣なりこ云ふ

◎怪鮮人入込む

四月二十六日以降パコタ公園を中心として附近に於ける鮮人旅館下宿屋の重なる者及び太平町、北米倉町に於ける同旅館並に下宿に平安南道、黃海、咸鏡南道、慶尙南道、全羅南道、忠淸南道、江原及び同島、奉天方面より入込み宿泊せる五十餘名の舉動頗る怪しき鮮人あり彼等は農業或は商業に從事する者こ稱し居れごも其風采何れもハイカラにして之を受取れざる節多々あり何ものかを觀望し居るが如し

◎懇な救助に感泣
水原地方の罹災民
家無しには五十圓支給
逃出したものも歸つて來て極り惡るさうな顏をして働いて居る

水原に於ける罹災民救助の實際を視て來た人の談に曰く、救助事業は著々進捗し道廳から派遣された某氏かの救助隊は郡面吏員や有志者こ共に盛んに奔走してゐる、一時騷擾事件に嫌疑を蒙つた者や或は附和雷同した連中も

▲罪の輕い 者は將來を嚴誡して續々放還されるので、今彼等は前非を悔い乍ら道郡廳の手厚い手當に感泣しつゝ山から樹を伐出して家屋の建築に掛つて居る者もあれば苗代の用意に掛つて居る者もある、既に起訴されたり又はされむとする者は極々少數の

▲首魁者に 限られて居るので山の中や沖の島々に逃げた者等も續々歸還して極りの惡さうな顏して働いて居る者もあれば、負傷の痛みに堪へ兼て治療受けに出て來る者もあるさうである。道廳では善良な人間で家屋の無いのに困つてゐる者には特に一戶に付いて金五十圓宛支給するか

▲或は木材 を現品で與へて速かに雨露を凌がせるやうに計らひ、又農業の時期が來てゐるのに種子を蒔くこも出來ずに困つて居る者には必要に應じ種籾を配付して農期に遲れざらしめる樣にしつゝあるので、彼等も今は全く落着いて何等の不安なしに

▲家の整理 に掛つてゐる。餘り噂が高いので何ンなこさかこ思つて往つて見たら別に大したこさはなく、漁民も農民も常態に復つてゐる。たゞ所々に新しい家屋の建築工事が目に付く位で外に何に變つたこさはなかつた

◎製絲工場
傳染病
益々蔓延す
感染せる職工は 發疹窒扶斯

大邱山十組製絲工場に傳染病發生したる事は既報の如し、既に窒扶斯か發疹窒扶斯か未だ判明せざるも其傳染病患者なる事は殆んご疑ふの餘地なきもの、如く患者數は其後益々增加し今や總症者合して百四十六名に達せる有樣なり是が爲め大邱警察署衛生係は取敢ず同工場の交通を遮斷し檢診消毒等に努力し居れるが同場囑託醫なる市內元町江崎醫院主江崎恒人氏は數日前より高度の熱發にて松本慈惠院長立會診察の結果江崎氏は間違もなく發疹窒扶斯こ診定され直ちに慈惠醫院に入院し同宅は家族の健康診斷を行ひ嚴重消毒を施したり傳染病の季節に入りたる此頃大いに警戒すべきこさなり（大邱）

◎群山の賑ひ
開港記念日

一日は群山港開港記念日にて祝賀會神社祭典店員表彰式店員慰安大運動會等ありて市內殷賑を極めたり（群山特電）

◎工業界は大打擊
內地の二等炭で卅圓位
曖昧品も入込むか知れぬ

一日から撫順炭の値上が實行されたので京仁の湯屋や工場は大恐慌を感じてゐるが猶其上に市內に於ける撫順炭の補給は

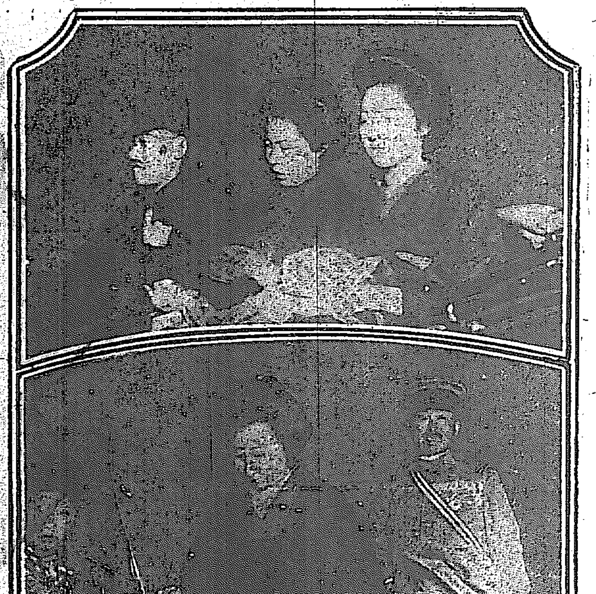
▲本月一杯 で來月からは內地炭を使はねばならぬ相である撫順炭專門の三國商會で聞くこ『內地炭を引くこ云ふのは來るべき事實ですが其滿鐵の盡力によつて撫順炭同樣に補給されるか或は

▲獨立市場 こして內地炭を引くかは今の所未定で、生田商工課長が大連に行つて滿鐵こ交涉した上でなければ定らない、だから何うしても其解決は本月中旬過ぎでせう、萬一京仁が獨立市場こして內地炭を引くこなれば炭價の高まるのは止むを得ない結果で

▲撫順炭こ 同程度のもの例へば二等炭の上物でも噸三十圓こ云ふ相場でせうから一般工業界も大打擊を受けるに違ひありません又內地炭の曖昧なものが澤山入り込むでせうから今迄石炭こ云へば撫順炭だこ思つて居た在鮮の人達は石炭をよく鑑定して使用する事が必要でせう』こ云ふ

▼湯錢は
七錢に値上か
警察では詮議中

京城湯屋組合は從前から湯錢値上を企圖して居たが此石炭値上を機會こして愈五錢から、七錢に湯錢を値上したいこ云ふ希望を警察側に提出して居る湯屋側では『物價騰貴の爲め現在の金五錢では斷じて生活して行く理で此先永くは續けられぬ此上石炭が噸で五圓も値上になつては假令七錢貰つても儲からない唯何うなり斯うなり營業を續けて行けるこ云ふ丈です』こ云つて居る警察側では『市民の保健衛生に大關係のある事であるから愼重に研究中である』こ云つて組合の値上案を握つて居るが然し事情が事情なので早晩七錢位に値上する事は許すだらうこ云ふ


入城した兩將軍の家族　(上)兒島將軍に迎へられて自動車上の人こなつた夫人こ令孃(下)龍山に降りた淨法寺夫人こ令息達

◎昌原の萬歲
學生が中心

廿九日午後一時慶南昌原郡沙巴丁憲兵駐在所西方約二丁鎭海昌原間道路上に於て學生を中心こする約四十名の群衆獨立萬歲を高唱し運動を開始したるを以て同憲兵駐在所員は直ちに解散を命じ目下首謀者搜査中なりこ

◎天道敎燒かる
反感者の所爲か

京畿道水原郡雨汀面花山里天道敎傳敎室は騷民の爲め破壞せられたりこ思ふに今回の騷擾事件に關し天道敎に反感を抱く者の所爲こ認められるこ

◎急行列車延發

一日朝釜山入港の關釜連絡船高麗丸は一時間出港に際し山陽線列車、關釜連絡の關係上一時間半延發從つて同船釜山着は約三十分釜山發十時急行列車は約二十分遲延したり（釜山特電）

◎正直な出前持

平壤府町三木屋方出前持南埋太郎は二十七日午後六時頃旭町に於て現金四十七圓入の皮財布を拾得直ちに平壤署に屆出でたるが是れより先遺失者の屆出あり南には報勞金十圓を贈りたりこ（平壤）

◎雜貨商組合運動

奉天雜貨商組合は例年の通り來る七日北陵にて運動會を開催の豫定なり。（奉天）

◎訂正

一日附刊三面『米三千餘石燒く』こ題する記事中安東こあるは凡て商船の誤植

淨瑠璃界

▲鶴澤三造の稽古場に於て節廻しの話が出た時三造曰く『總じて節は聞く迄では糸に付かない、糸を離れるには節廻しを聞く耳れば好い』さ、是れは至極尤もである、節廻しを聞くと語るさいふ事は玄人、素人に拘らず心得べき事であるが是れが中々の難物、糸を離れようさ苦心するために、却て節廻しが道樂になり、少々糸に付いても分りよく語る方が安全であらう。▲二三日前の晩、本町の奈良梅宅へ二人連れの若い藝妓が來て『身の上を判斷して貰ひたい』さ云つたので家人も呆れたさうな。義太夫節りと易者と間違ひ方が酷い。▲京城でも素人の義太夫の稽古を始めるものが大分多くなつて來た。

◎鮮人汽車を止む
咸永線の出來事

[illegible]より機關手は續け樣に警笛を鳴らしたれ共一向立退かず止むなく制動機に依り停車したるが同時に[illegible]は其の死人の爲を働きたるもの如く一說に依れば同列車が同日午後四時元山驛を[illegible]憲兵分遣所に於て取調中なるが外には格別の損害なかりき

◎空家から爆彈

[illegible]紙入りのボール製箱一個爆術の入り居りし空袋等發見されたるより[illegible]ここ判明せり目下犯人嚴探中

◎連絡船上陸客

卅日 午後入港壹岐丸二等客 [illegible]

天氣　京城地方　曇後晴

資本金參百萬圓
（明治三十八年設立）
當銀行ハ預金、貸金、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
京城南大門通一丁目十四番地
株式會社 漢城銀行
長 男爵 李允用
專務取締役 韓相龍
支配人 石鎭衡
電話長六〇一、二 振替口座京城二一〇五番
▲支店所在地 水原、平壤、大田、開城、南大門、釜山、東京
▲出張所所在地 鐵原、東萊

藥種賣藥卸商
Ⓚ
醫療化學諸器械一式
仁川本町 北島藥店 電話一三四・振替京城六七番
京城本町永樂町角 北島藥店京城支店 電話七六一番

眼科專門 入院隨意
京城明治町東拓横（電話二〇四四番）
江頭眼科醫院
日曜祭日午後二時迄
江頭富雄

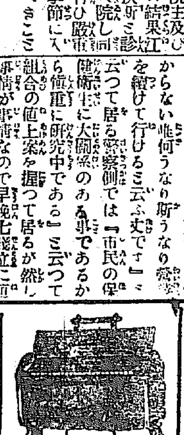
銘酒

金釜 銀釜 菊正宗 櫻正宗
特約店 京城 三巳支店 電話三七八五

▲平壤京谷商店製
耐火煉瓦販賣
京城古市町 苫米地商店
電話九四一、三一〇八番 振替京城五三一番(1)

寫眞 御希望によりましては出張して寫します
寫眞銅版、亞鉛凸版、コロタイプ
眞鍮看板、ネームプレイト
其他寫眞應用技術一般
京城日報社寫眞製版部

京城明治町二丁目江戶川横（電話一六三番）
內科 小兒科 森病院
入院隨意
醫學士 森定吉



新荷著（目錄無代贈呈）
京城本町二丁目二九番地 山葉樂器朝鮮代理店
販賣元 釘本樂器部
電二八三・振替京城六八四

眞鍮品鑄造
蝶番。取手。落類其他何デモ御下命通り迅速安價ニ出來マス
金物商 京城本町一丁目 佐野彦藏商店
眞鍮品鑄造工場

第一版

満洲遠邇

(十三) 筏節から戰蹟

一貫生

記念館を出て、更に馬車を驅つて朝鮮銀行出張所を訪問する。同所には舊知伊藤敬三君が居るから特に敬意を表する事にした、折角來たから特に敬意を同君を御紹介申したい事がある、彼の流行の筏節なるものが、朝鮮の花柳界、少くとも京城の花柳界を風靡したものとすれば、其の筏節の發案者は、斯界の偉大なる功勞者であらねばならぬ。其筏節發見傳播の本家本元たる功勞者は、誰あらう此の伊藤敬三君である。然らば筏節の發源地が旅順であるかと云へば拙者は躊躇せずノーと頭を横に振る、と云ふのは矢張り新義州、安東縣が其本家であるからである、然らば旅順の伊藤君が何故に發見者であつて功勞者であるかと云ふ事になる、其は斯うだ、伊藤君は七八年も以前に朝鮮銀行の新義州出張所に居た、其時何時しか鴨緑江上から聞ゆる彼の悠長なる筏節に心醉した、而して其餘暇があると其れの研究を始めた、或時は江岸に聽き惚れた事があつた、或時は自ら筏に乘つて義州から面白く其歌を聽きつゝ新義州迄下つて來た事もあつた。熱心に研究した結果が、遂に江上から陸上に轉じて安東縣新義州に流行し、流行病の樣に忽ち四方に傳播したのであつた、流行病と云つたつて惡い意味ではない、一般流行傳播の速いのは病氣である、だから其速度を示した譯であるが、尤も世の中には舞踏病と云ふのがあれば歌を唱ふ病氣があるかも知れぬ、之等は唱歌病とでも云ふのであらう、朝から晩迄、又は人を……だらう、何れにしても天下泰平病に屬する、閑話休題、之から戰蹟視察に出掛ける、一體一と口に旅順戰蹟と云ふも其區域は却々廣い、鳥渡之に其距離を示して見よう、それは旅順停車場の東方約四丁街の入口の牧場溝に架かつて居る東洋橋を振り出しとした勘定である、一番遠いが八頂子山砲臺で二里五丁であつて次が一里三十一丁の猴鼠山、其から一里二十五丁の爾靈山と赤坂山、次が一里二十四丁の大孤山、旅順水源地擁護の爲の鳩灣公保壘と、乃木將軍とステッセルの會見地たる水師營へ一里二十丁、椅子山砲臺へ一里十五丁、松樹山砲臺へ一里十丁、二龍山砲臺へ一里九丁、盤龍山北堡壘へ一里五丁、東鷄冠山北堡壘へ一里四丁、松樹山堡壘へ一里二丁、一番近いのが東鷄冠山砲臺で一里、だから鳥渡一巡しても十七里位はある、其が山越や谷を渉らねばならぬから、徒步で遣るとなると容易ではない、で大概の人は白玉山の上から遙拜する、相な事も之では地下の英魂に對して濟むまい、折角此處迄來たならば一つ砲臺だつて自ら足を運ばねばならぬ、と云ふ訳で拙者は旅順戰蹟を代表的戰場たる爾靈山の戰蹟を視る事に決めた、仰げば白玉山上の表忠塔は白く巍然として天に聳えて居る、其處で聖得あり曰く、攻防實激烈、山崩海亦紅、巍然表忠塔、白玉峰頭雄

天道教 (十六)

伊藤韓堂

◇孫秉熙と其周圍
=一進會と侍天教の創設=

▲崔時亨は刑せられ、金開南等の頭目は討死し、孫秉熙は支那に走り、金演局は市井に隱れて後因られたので、東學は全く其の中心點を失ひ、曾て四十萬と稱した五十萬と號した徒黨も、今は早や四散して、陰に教を奉ずる者も、陽には然らざるを裝うて居つた。

▲崔の刑戮後は、衆望孫秉熙の一身に集るに至つたが、信徒は彼が逃れて支那に渡り、後日本に走れりと信ずる者なく、孫先生は仙、先師より眞訣を授けられて羽化登仙し、今正に天國にあり。近く俗界に還りて以て幸福を與ふるなるべし……と傳へられてゐた

▲金演局の投獄、孫秉熙の亡命によりて、實際に於て全く離散せる東學の殘黨を率ゐて、密に東奔西走し、假令空名にせよ、形骸のみにせよ、東學の命脈を留めしめたのは、後の一進會長李容九が努力の結果であつた

▲李容九は亂後、李祥穡と變名して各地を暗行し、黨徒の離散を防ぎつゝ、在日本の孫と策應して、捲土重來の時機を狙つて居つた、そうこうする内に無二の好機、日露戰爭は起つた

▲宋秉畯從軍より歸るや、政界の大改革を行はむと欲し、舊獨立協會首領尹始炳、金明濬等と謀り步會を組織したが、幾何もなくして内訌の爲潰滅した、乃で東學の殘黨を基礎とした一の政治結社を組織すべく李容九に總度か孫と會見し、大いに議論を上下した結果漸く其の同意を得た。孫渉の上三十七年六月自ら東京に赴き孫と會見し、大いに議論を上下した結果漸く其の同意を得た。孫秉熙は李容九に對し黨與を率ゐて宋秉畯と合一すべく命じたので、茲に一の團體が生れた。是れが一進會である

▲斯うして東學は宋李指揮の下に純粹の政治結社に早變りし、宋李は其力を藉つて我が鐵道建設工事其他に幾多の貢獻を爲したのであつた

▲明治三十九年一月廿八日、孫秉熙は東京より歸つた。信徒間に於ける聲望は依然として高く、一進會員は擧つて孫を迎へて居つた。

▲孫は乃ち東學の呼稱を改めて『天道教』と呼ばしめ、政治的に活躍しつゝある一進會の勢力を利用して天道教を擴張し、地方の一進會長は天道教支部長の下に在る一家屋を以て充てた位であつた。然の組織とし、事務所の如きも同一るに間もなく孫秉熙と宋秉畯は衝突し、孫は宗教と政治と混同するの不可を唱へ、教規に背戻するは忍びざる所なりとて、五月某日一進會との提携を斷つて了つた

▲孫宋との間に介在して困つたのは李容九であつた。李は熟慮の上多年の師友たる孫と斷然斷つて宋との握手を固くし一進會の主義を行はんと決心した、そして孫に望ある孫の下に走らむとする一進會員(實は天道教徒)の食止策として三十九年九月十七日『侍天教』を創設した。固より天道教の頭目たる李容九の創めた侍天教であるから内容の總てが天道教と同一なるは云ふ迄もないとである。

◎仁川沙島に引揚船渠

所謂オツブン島の活用

曩に創立總會迄漕ぎ着けし仁川船渠株式會社の差換以來同社の經營契約の下に在りし仁川鐵工所は同社創立發起人たる臨任技師緒方久氏其の經營をなす事となり目下造船鐵工所と稱して盛んに諸種の鑄造船の需めに應じつゝあるが現在仁川に於ける船舶修繕の急を要するもの多々あるに拘らず之が施設を爲せるものなく一般船舶業者並に船舶業者の不便少からず仁川の爲め赤最も遺憾とせられ居る處なり然るに同所の事業上にも修繕船渠の必要は一日も缺ぐべからざるものあるを以て此際別に引揚船渠の築造を計畫せられ今回仁川沖島の突堤に添へる東南面の干潟の面積一萬五千坪を以て此の引揚船渠築造の地に選定し仁川船渠創立委員長の同意を得て去る二十五日其筋に對し築造願書を提出したり勿論時勢の要求たる船渠の必要は其筋に於ても充分了解あるを以て何等の支障なく許可の指令に接すべきは言を俟たざる處なるべく同所に許可の指令あり次第五日以内に之が築造に着手し三箇月で出来ずして一般の需用に應ずる設備を爲し以て最大不便とする船舶修理の事業を爲すべしと

◆計畫内容に就て聞くに約一萬五千餘坪の埋立を爲すと共に三四百噸級の船舶修理に差支なき程度の引揚船渠を架設すべく此の經費に約二萬五千餘圓を投ずべしと云ふ而し其主要部分の材料は既に整ひ居るを以て比較的急速に事業を進捗せしむるを得べしと云へば此引揚船渠の完成せば從來極度の不便を感じつゝありし小汽船の修繕等態々遠く内地或は大連等へ廻航するの必要なきに至り非常の便利を得るに至るべし(仁川)

◎満洲經濟通信

長春錢鈔株式會社

錢鈔會社と昨今の經濟界

過般臨時總會の結果取り敢ず存續に決したる長春錢鈔株式會社も其後營業を繼續なさんにも會社手持露貨官帖等にて總會當時の損失金四萬餘圓と稱せられ客筋の決濟不能の帳尻七萬圓と計上され約總計十二萬圓の缺損額に達したれば既に拂込濟の資本金十萬圓を超過なし居れば流通資金は素より社員の俸給すら重役の手より一時立替ざるべからざる悲境に在れば手の附け樣なくされば總會の席上は出し氣味に唯救濟を求むるのみにて持明す錢鈔會社の手持毀は決濟出來得ざる爲め打切る事能はず一日延ばしになりたる爲め總會當時より相場は暴落して缺損額愈々嵩み焦慮に苦しむばかりの狀態を呈し從前なれば斯る際の救濟機關の中樞となし居たる金穴の朝鮮銀行さへ緊縮して回收に急なるより長春銀行としても策の施すべき様なく茲に於て錢鈔會社は全く存續とは名のみにて半死半生の中に時日は經過なし行くのみにて株主等は此悲境を目前に見て今は一時も早く各持株を賣り退かんとすれど會社の内情が殆ど知悉せられたる今日何人も望み手なく小株主中には迷惑なし居るものあるも大株主連に至つては當初より投機的計畫にて設立され全額拂込とされたる會社なれば今更悔むは愚痴の至りなりと諦め居る向き多ければ此儘名義のみを存續して徐々に善後策を講ずるより策なかるべしとて要は依然空名存續と見込なし(長春)

混沌たる經濟界

近時長春財界の混沌たるは到底名狀すべからざる狀態にて何人にても最近に於て同社の信用は皆無となり實質に於て營業の開始せらるべしとも見込なしと云ふ(長春)

二吊五百文以上の開きを生じたる事三、鈔票一元に對し吉林官帖時は直に其日の取引を停止する事二項の實行は難しかるべく到底此策も未だ良策とは稱し得べからず果然四月二十六日の鈔票相場は金票百圓に對して二百九十八元を示し尚前途混沌として容易に同復すべき形勢なく頗る憂慮せられ居れり(長春)

書間送電

(木浦) 木浦…株式會社にては畫間動力供給の爲め資金を要し廿八日の株主總會にて一株三圓宛拂込を決議し拂込總計十萬圓と爲すべしと

◎勇進組引續き好成績

林組合長出張

既報朝鮮海の不正漁業改良組は林水産組合長の快諾によりて改心せしを以て之れに市着綱一統を授け釜山龍頭山神社に於て宣誓式を行ひ勇進組と命名勇ましく出漁し居りたるが其後又『大漁あり引船なきため江慶丸賴む』との急報に接し林組合長は欣然として江慶丸に搭乘巨濟島長承浦に向へり(釜山)

サツポロビール愛飲家に限り本切拔御持參の方は左の通り割引候

サツポロビール 愛飲家割引券

割引觀覽料 一等金五十錢 二等金卅五錢 三等金二十錢 (但本券は大人二人迄通用)

有樂館

サッポロビール後援

商況

東京現株中値
(三十日中值)

[illegible]	[illegible]

東京株式特電
(二十九日前場引け)

[illegible]	[illegible]

東京期米同電

[illegible]	[illegible]

大阪株式特電

[illegible]	[illegible]

大阪三品特電

[illegible]	[illegible]

大阪期米特電

[illegible]	[illegible]

神戸期米特電

[illegible]	[illegible]

下關期米特電

[illegible]	[illegible]

新甫無鞘

[illegible]	[illegible]

京城現株標準値

[illegible]	[illegible]

白米一服姿 一寸商談途切

小賣値は此邊に落着

板硝子强硬

本邦品の販路は頗る强固

薄物は拂底

木炭は冷靜 市價昂騰の兆候

正米小强し

幾分の引締

强含み持合

原料補充

俄然一變激落

移入順得

内地小麥强調

内地新物作柄良好 大麥

亞比酸落

毛斯綸紛擾

京城正米

南大門廻穀

洋灰は盛況

大口需要

小賣

朝鮮釜激落

影響は免れ難く或程度迄

仁川正米市場

▲一日 二十錢乃至三十錢下鞘見

格付審査 焦れ退

正米大阪沖著二十七圓六十錢見當迄買

注文

各地米況

地摺玄米三十四圓より三十錢迄買進

外米の船先

外米格付悲觀

賣相場は追々鞘寄を來つゝあり

定期と外米

北濱たより

仁川米豆取引所未拂金の內譯

期米雜觀

生魚市場

青物市場

演藝案内

有樂館 ユニヴアーサル會社特別大興行

鳴呼鈴木稜長

花になるまで

壽館

黃金館

二代目桃中軒雲右衛門

壽座

二蓋笠柳生實記

富士曙二度敗革

大正館

山家の乙女

チブリンの義氣

仁組の喧嘩

不知火

浪花館

法人登記

法人登記公告

京城地方法院 仁川支廳

漣川出張所

時計 貴金屬 指輪 眼鏡商 京城本町二丁目 三浦天龍堂

株式 現物

防水布 雨具 京城明治町二丁目 古賀喜商店

仁川本町 白神洋行

金物商 テグス釣具一式

京城南大門外 白神洋行支店

醇良清酒 白菊 大阪府堺市 肥塚商店 京城本町 特約販賣店 佐藤牧商店

日本名刀傳 (卅四)

東京 田邊南龍講演

伊勢太郎正俊(九)

正『難有うございますが、私にはまだ早うございます、まだ〳〵二十歳を過した位では斯る重きお役目は勤まるまいと思ひます』貞『成程、まだ歳が若いから大事に臨んで心が落付くまいと云ふ懸念もあるが、それさへ自分で氣を付ければ、腕前に於てはお前位出來りや決して外に引は取らないよ、どうか心を落付けて今度は一つ勤めて貰ひませう』秋廣も病間より出て來て共に言葉を添へまするので 正『それでは一つ及ばずながらお引受け致して見ませう、申す迄もございませんが、齋戒沐浴して心を淨め、お師匠樣を始め父の村正、押し及ぼしては正宗大先生の御恥辱にならぬやう必ず一心籠めて鍛上げまする、若し萬が一に仕損じまして私の鍛ちましたる刀が貴いお方樣の御用に立ちませぬ其の時は、美事に切腹して皆々樣へ申譯を致します』貞『オヽ能く言つて呉れた其位の決心が無くてはなりませんそんなら何分頼みます』正『宜しうございます』それより向ふ槌として連れて往く者は貞宗の弟子宗廣、國廣自分の弟子俊道此三人を選みまして都合四人、不日上京することゝ極まりました之れを聞いた正俊の妻きたの悦びは一ト方なりません、夫の出世、もしこれが旨く往けば自分は望み通り正俊と同棲になれる、どうか首尾好く夫の大望が遂げられますやうにと、それからと云ふものは朝な夕なに神樣や佛樣に願をかけます、愈々出立と云ふ前日には門出を祝ふ酒宴を開き、荷物を擔く人足も三人雇ひ、身裝も見苦しからぬやうにして、茲に四人は鎌倉を立ちました、然るに容易ならざる事件出來して、正俊の身に災難が生じました、と云ふのは、同じ相模國に近頃居を構へて可なり名を揚げて參つた刀鍛冶に大進坊佐慶と申す者があります、此者が正俊を嫉視すると云ふのは、年の若いが自分より正俊の方が一段優れて居る、彼奴に都へ上られては殘念ながら自分は及ばない、平生から彼奴は同じ相模國で年も若く評判も好いから邪魔になつてならなかつた、今度も貞宗は老體秋廣は病人だから、此の相模國からは俺一人だと思つたら、彼の若造が從くことになつたとは、さて〳〵油斷のならぬことだ、よし、何ぞ彼奴を除く工夫をせにやならぬと相談をしたのが類は友を以て集まるとか申します、弟子の慶勝、慶國、それに佐慶の朋長義、是等と談合いたしますと 長『叔父さん、この長義にお任せなさい、細工は流々仕上げを御覧じろ、彼の正俊の小倅、決して都へは遣りません』と段々樣子を探ると、正俊は弟子三人人足三人を連れて既に出立したと云ふ、此方も後れてはならんと、同じく四人、人足も三人連れて正俊の後を見え隱れに尾けて參ります、一體この大進坊といふは前年まで刀鍛冶の子で、十一歳の時日光へ上つて一旦坊主になりましたが、後に還俗して刀鍛冶となり大進坊佐慶と名乘つて可なり腕前も良いのでありますが、何分邪智の姦物で、雅量と云ふものが無く、唯々己より優れた者あれば之れを嫉むと云ふ小人、今度も正俊に都へ上られては己の出世の妨げとなると思つたので、三人の同志と姦計を廻らし、江州水口の手前市場村と云ふ所で一事件出來致す御話。

人參エキス
京城本町壹●電話一四八〇番 一八七〇番
㋡ 津村兄弟商會

◎信託公所經營難 安東縣に於る

兩、小洋錢、鈔票等の現物及び定期取引をなす目的にて昨年十月中開所したる安東信託公所は支那商人側との交渉纏まらず純然たる日人間の取引に止り引續き開所中なるも日本人の經營する銀行には兩、小洋錢、鈔票等の準備少く同公所に出來た建値の現物受渡しに就ては殆ど不可能の奇觀を呈したるさへあるに舊年末より本年四月に渉り日本輸出貿易商組合對支那油房業者間に於て金銀建値問題起り双方の離銷を見たる等の事あり種々の難關に遭遇して其取引は殆んど有名無實の有樣となりたるが最近に到り公所に於ては更に豆粕の定期取引を開始したるも其受渡しに要する準備の現物なき爲め買方あるも賣方皆無の奇現象を呈し殆んど營業中止の有樣なれば同公所の經營維持頗る困難なるべしと觀測されつゝあり

◎連絡船員運動會 (釜山)

釜關連絡高麗丸にては松原船長以下船員全部に渉り二十九日陸上運動會を催する事として同船は午前八時半入港乘客の上陸を終り絶影島牧場に全員集合して運動會を催し中に假裝行列の如きは船内の器具を用ひたる等趣向面白く當日は松原船長、移橋氏、鈴山驛長、各主任、各新聞記者等の臨場もあり盛會なりし

五月二日

(舊)四月四日 金曜日 ▲きのえさる ▲四緑 劍鍛東南 ▲先勝 ▲女さつ 八十八夜

▼四緑▲物ごと捗取らざる日なり
▼五黄▲午前中は面白からざるも午後四時頃より面白くなる日なり
▼六白▲目上の引立あるか又は良縁ある日なれど妄進を戒む
▼七赤▲變動を生ずる象ある日也
▼八白▲午前中吉なれど夕方より萬事意の如く行かぬ樣になるべし
▼九紫▲勇み立つ樣にて意外の物ごとのスラ〳〵と捗の行く日なり
▼一白▲吉運に向ふべき日にて萬事に用ゐて成功すべき好き日なり
▼二黒▲或は意外な宜きことを聞くやも知れず、心氣も爽かならん
▼三碧▲用意は成るべく午前中に片付ける樣にすべし午後は行悩む

人から嫌はれる わきがを
◎根本的なほせ
●疑ひ深い人は死ぬ迄なほらぬ
●化學的療法無代進呈
藥學界に名譽ある陸軍一等軍醫吉尾博士先生は男女わきか病にてお困りの人を助けんが爲め數年間苦心研究の結果今回最も進歩したる「チゼン液」と云ふ不思議にヨクキク責任ある藥を創見致しました是迄無責任な一寸素人ダマシの賣藥にて效無くお困りの人は彼是と迷はず一日も早く東京府下大久保町西大久保五十一東京博愛藥院宛にハガキで申込めば新療法の本を無代で上ます

◎不思議になほる
あざ ソバカス ほくろ いぼ にきび

捨置ば人から笑はれる今なほせ藥學界に名譽有る陸軍一等軍醫吉尾博士先生が數年間苦心研究の結果決して害なく不思議にヨクキク特効藥を發見致しました是迄種々無責任な賣藥で治療しても効無くお困りの人も彼是と迷はず一日も早く三錢切手封入「東京府大久保町西大久保五十一東京博愛藥院」へ申込ば確實安全秘密に治療の出來る自宅新療法の本を無代進呈

創立記念 十週年 大矯正 とり
會を開く詳報郵送 本社東京 廣島市田中町五七 石社廣島支部

●日本一
最上清酢
マルカン印

ほまれ味噌

最上 醬油 龍
日本醬油株式會社 京城出張所 電話二四五番

●木材木炭販賣豫約募集
◆木材の種類
杉、板木、橋梁木一式
▲普通柱木
▲火木白炭(一俵百斤)
前記材木販賣候間買受希望者は御入用種類及び數量明記の上利川邑内李哲載に書面又は面談を乞ふ幾萬本にても御用命に應ずべく候
橫城郡書院面梅里
李哲載
木材事務所

丹平商會發賣の『蛇印』
アンチピリン丸
特長 ▲最新高貴藥の配伍 ▲絶對に副作用なし ▲胃中に溶解し易し
主効 かぜねつ、はやりかぜ、頭痛、腰痛、リウマチス、オコリ其他熱病一切に偉効あり
藥價 十□十錢 十五錢 二十五錢 五十錢 到る處の藥店に販賣す
コドモ(なゝつより以下の七歳)かぜねつにオイン
發價十錢廿錢三十錢各藥店有

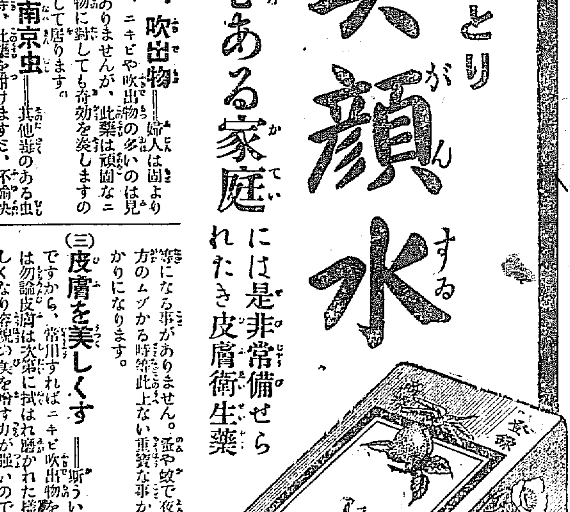
セーフテーフワースト 安全第一 かぜねつ特効藥

りん病 消渇
困る方切手三錢送れ多年の慢性も自宅で秘密に治す妙藥を人助けに無代お敎へ致し升
名古屋南かじや町 武藤亀吉

東京の
髪結さんがその結上振を見違へるばかり艶々しく見事にするので毎も愛用される
一度で濡羽色の黒髪となる
ホーカー美髪液
■花見時のお髪上には――
ホーカー美髪液ほどお化粧を引立るものはありません
▼全國到る處の小間物化粧品店藥店等に賣す品切の節は直接本舗へ振替又は切手代用御注文あれ
定價小二十五錢大四十錢 送費内地無料滿鮮川錢

東京市神田和泉橋際
ホーカー液本舗 堀越嘉太郎商店
ホーカー白粉 特約 神田特長一四三、二四四、一四五
ホーカー美髪液 振替口座東京一五六

貧血、神經衰弱、病後恢復期に特効ある
正しき補血強壮增進劑
ブルトーゼ
強壮は如何にして得らるゝ? 試みに說明書を見よ
本劑は體内に於て如何なる作用をなす? 詳細なる說明書無代進呈す
本劑は各地有名藥店にあり萬一品切の場合は本舗へ直接御紹介を乞ふ
發賣元 大阪道修町・東京本町 藤澤友吉商店

にきびとり
美顔水
心ある家庭には是非常備せられたき皮膚衛生藥
(一)ニキビ、吹出物――婦人は固より男子にても、ニキビや吹出物の多いのは見よいものでありませんが、此藥は頑固なニキビや吹出物に對しても奇効を奏しますので信用を博して居ります。
(二)蚤、蚊、南京虫――其他毒のある虫に螫された時、此藥を附けますと、不愉快な痛さ痒さを覺えず、螫された、跡が腫物等になる事がありません。蚤や蚊で夜お子方のムヅかる時等此上ない重寶な事がおわかりになります。
(三)皮膚を美しくす――斯ういふ藥ですから、常用すればニキビ吹出物を防ぐは勿論皮膚は次第に拭はれ磨かれた樣に美しくなり容貌の美を増す力が強いので、此藥は心ある家庭には常備せられて居ります
(定價特大瓶壹圓貳拾錢・大瓶六拾錢・中瓶參拾錢・小瓶貳拾錢)


發賣元 (東京・大阪) 桃谷順天館

五光商會汽船出帆廣告
◎元山西湖、城津、淸津行 第三 五月五日 元山發
◎門司、宇品、神戸、大阪行 第三 五月七日 元山發
釜山 大池回漕部 元山 田口回漕店

共同汽船仁川出帆
大連行 第二共同丸 五月一日午後入港 二日正午出帆
青島直行 第十一共同丸 四月 日午前入港 日午前出帆
大連直行 第十三共同丸 四月 日正午出帆
朝鮮鐵道主要驛にて荷客連絡取扱
仁川代理店 本町四丁目 阿波共同汽船株式會社 野口商會
元山代理店 田口回漕部
京城取次店 南大門 河村運送店

◎日本郵船仁川出帆
大連、天津、牛莊行 新瀉丸 四月 日正午出帆
◎船客搭載セズ 高砂丸 四月 日正午出帆
都合ニヨリ早發スル「アルベシ」
仁川海岸町一丁目 世話十番 堀回漕部

尼崎汽船仁川出帆
群山木浦下ノ關大阪行
赤城丸 四月 日後四時出帆
第二運輸丸 四月 日後四時出帆
神代丸 四月 日後四時出帆
秀吉丸 四月 日後四時出帆
君か代丸 四月 日後四時出帆
仁川海岸通二丁目(電話五九番) 高杉回漕部

朝鮮郵船出帆
大阪朝鮮等ノ爲メ發著日時變更スル場合有之候ニ付詳細ハ本社又ハ各地支店出張所代理店ニツキ承合被下度候
▲淸津行 元山、經由 立神丸 五月七日 五月十日 元山發
▲浦汐行 大阪、門司、釜山、元山、城津經由 平壤丸 五月四日 釜山發
▲雄基行 關門、釜山、名港經由×印 雄基丸 五月六日 五月九日 釜山發 忠淸丸 五月十一日 五月十四日 元山發
▲元山雄基線 元山起點各港經由雄基 鏡城丸 五月四日 元山發
▲大阪行 浦項、神戸經由 越後丸 五月五日 五月七日 元山發 釜山發
▲關門行 城津、元山、各港經由 京畿丸 五月七日 五月十日 五月十二日 五月十五日
×咸鏡丸
▲鬱陵島行 釜山發浦項及各地經由 盈德丸 五月十一日 釜山發
▲釜山浦項線 昌平丸 五月八日 釜山發
▲濟州島行 木浦發 五月十五日 五月十七日 木浦發 慶興丸 公州丸
▲釜山麗水線 釜山、麗水間往復
▲木浦濟州島線 木浦發 五月十一日 木浦發
▲多島海行 木浦發多島海各島行 隆興丸 五月十二日 木浦發
▲木浦行 仁川發各地經由 江田島丸 五月十二日 仁川發
▲鎭南浦行 仁川發各港經由 晋州丸 五月八日 仁川發
▲大連行 仁川發芝罘經由 江原丸 五月四日 仁川發
○本社 京城南大門通(電話長一九五二)

京城日報

京城太平通一丁目 發行所 合資會社京城日報社 編輯兼發行人 [illegible] 印刷人 小川三之[illegible]

▲在鄉軍人會 [illegible] 聯合分會にては二十七日午後一時 [illegible] 新任支部長 [illegible]

[illegible] 左の通りである可からず [illegible] 三月中の神戶海貿易 [illegible]

▲海陸運輸 [illegible] 次に運輸狀況 [illegible] 之れを以て財界の大勢を判別し得 [illegible] 荷激減による船腹の過剩により當港出入船舶も隨つて增加して居る [illegible] 右の如く前年 [illegible] 船舶噸數の激增し居れるは注目に値ふべきである [illegible] 市場の平調に復歸するに非ざれば金融界も依然現狀を持續すべく [illegible]

行詰れる對支政策

京城日報

講和會議に於る山東問題は、屢々危機に瀕せるを傳へられたるも、最後の四巨頭會議に依れば、我が委員の強硬なる態度と、赤熱せる國論の反抗に待ち、諸石に讓歩なる所あらしめたるもの、如く、今後許多の曲折はありとも、結局我主張を貫徹し得べき望みなきにあらざるに似たり。萬一英米國にして飽迄強硬の態度を改めず、若くは姑息なる妥協案の下に我面目を蹂躙し我權利を毀損し去る如きあらば我委員は席を蹴て巴里を退去するあらんのみ。是れ政府も國民も共に豫期する所にして、一分も未練ある可きにあらず。されば山東問題は講和會議に於ける形勢の奉否如何に拘らず、結局帝國の自由意志に依り、其の處分を了することゝなるべきも之がために將來の對支問題は一層の錯雜紛糾を來たし、容易に妖氣を一掃し得ざるの形狀を呈せん事を憂へざる能はず。

元來支那は歷代日本內閣の鬼門にして、近く大隈內閣も之が爲に倒れ、寺內內閣も之が爲に幾多の非難を招したり。現內閣に至りて寺內內閣の對支方針を一變し、南北の一視同仁を標榜し、北京政府に對する借款の打切り、武器供給の停止、借款、預金の保留等を斷行し、又既に約束濟となれる借款まで取消す等、一意南北の融合を圖るに汲々たりしと雖も、其結果は毫も廉明を充し能はざるのみならず、從來日本に信頼せる北方派をして失望の極、遂く米國に結ばしむるの奇觀を呈し、又南方に於いては日本政府の措置に對して何等の諒解を爲すことなく依然として排日思想を執るのみならず、近來長江沿岸に於ける在留外國人と呼應し、形勢益々險惡ならんとするの兆なきにあらず。加ふるに巴里に於る講和會議の狀態は既に彼が如く、南北を通じて一齊に反日本の氣勢を揚つゝあるは、最も注目すべき事實にして、萬一講和會議に於る我主張にして貫徹し得ざらんか、帝國の威信は地を掃つて盡き、斷じて特殊の地位を保ち得べからず、從來の日支間の諸協約は根底より覆へされ日支間の密約も石井ランシング協約も徒らに其形骸を留むるに至らん。若し幸ひにして我が主張通りに山東問題を處分し得るに至るとするも、支那の對日反感は益々深く、幾多の波瀾を惹起すべきことは、之を從來の經驗に徵して甚だ明白なり、之を要するに山東問題が兩者何れに落着するも日支間の交情、容易に疏通するを期し難く、殆ど行詰りに達せるものと認ざるべからず。現內閣の對支政策が此の如く蹉跌するに陷りたるは、要するに支那の實情に通曉せず、支那人の性情を解せず、漫然公平を標榜して之に臨み、是に由りて支那を招撫し得べしと誤想せるの結果にして、實をいへば無策無方針の月並政策といふの外なし。此の如くにして講和の大局を誤りたんか、我が唯一の大得意の原料の供給地たる支那を舉げて、歐米の獨擅場と爲し、我が實業界は手を束ねて之を傍觀するの餘儀なきに至るべく、はた政治的に甚だしき地位の失墜を來し、帝國の立脚地は沮喪して滅亡するに至らん、是實に將來の安危存亡に關する問題にして斷じて之を輕視するを得ず。未だ知らず多智なる原首相は如何なる妙策を以て此の行き詰まれる局面を打開すべきぞ、吾人實に憂慮に堪へざるものあるなり。

佛戰後經濟政策（一）

入超五十億法＝保護政策＝戰後の製鐵國

二月廿七日在巴里本社特約員　上田碩三

四年に亘る戰爭の爲め荒廢せる歐洲產業界の復興に關しては今や各國爲政家の最も苦心しつゝある所にして『產業恢復』『戰後經濟策』は講和問題と共に世界の二大問題として我が國に對しても亦至大の影響を及ぼすものなるが、本問題に關し別に報告する所あるべきが今佛國の戰後經濟政策に關し產業復興大臣ルシユール氏が二月十四日議會に於て演述せるものを得たるを以て茲に其大要を摘錄す

▲產業界の不振　佛國產業界の戰前の狀態に復歸するは到底短日月を以て爲す能はず蓋し歐洲は多數の勞働者を失ひ多大の原料品並に製造品を消耗せり、信用機關は常態に復せず工業家は企業の勇氣を失ひて獨り政府の註文に依り而して休戰と同時に其保有せる原料品の [illegible] 各方面の事業國有論は一層企業家を戒せしめつゝあり、▲勞働問題　更に企業不振の一大原因は勞働賃銀の高騰なり余は曾て戰時中の勞銀率を以ては輸出貿易に於て他國の競爭に打勝つ事不可能なりと聞けり但し佛獨伊三國の戰時中の勞銀を比較するに其騰率は略同一にして例へば『ウエストファリヤ』地方にては金屬職工は十八馬克、不熟練職工は十二馬克の賃銀を得つゝあり故に此の點に關しては佛國のみ不利の地位にありとは思はれず、只我が勞働法規に就ては [illegible] 條約中に明示する所多き八時間勞働制度に對しては多大の困難あり戰爭に依り多數の人を失ひ又貨物の需要大なる今日從來の制度を急激に變更して今日更に製造力の低下を招致するが如きは最も考慮を要する所なり

雜誦抄

◆相撲の起原◆　相撲はもと野見宿禰と當麻蹶速の力競べに始まり、一種の戯であつた。即ち或る形式の下に於ける『力競べ』である。鹿島神、[illegible] とが手の鬪ひつくらし以て力競べしたのも、[illegible] の鬪戯の存在を示したものではあるが、敵、仆す（或は或るられたる敵を）內から押し出す）を目的とする今の相撲も、赤是等の力競べと相並んで一種の鬪戯として、古くから行はれて居たものと思はれる。必ずしも野見宿禰の [illegible] みが角力ではない。たゞそれが [illegible] 元祖と仰がれて居るので史に見があらはれ、後に [illegible] 見がないからと云つて [illegible] がなかつたとは云へない。（民族と歷史）

新界の人寶財（94）

西海生

松平直平子

東洋拓殖會社理事

華族の實業家だとて、何も珍重するには足らぬが、少くも京城の新界では、東拓新京城駐在理事松平直平子は唯一人の皇室の藩屏である、然も君は新華族でない、堂々たる大名の家から出て居る、從三位勳三等の肩書もある、子爵議員として貴族院に席も置いてゐる、思ふに大名華族出と云ふ經歷を有つた誰の人の中、君の如きは內地に於ても指折りの方であらう

▲君は雲州松江に於て祿高十八萬石の家に生れ、當主直亮伯の弟である。本年五十一歲、明治七年二月、分家の出雲廣瀨の舊領主松平直巳子の養子となり、同家を襲ぎ、十七年授爵仰せ附けられ、三十年には貴族院議員に選ばれてゐる。拓地殖民事業と云ふ如き地味な實業方面に趣味を有し、內地に於て二三の會社に關係してゐたが

▲明治四十二年東拓の創立さるゝや故桂公の推擧により監事に選ばれ大正五年十一月の役員改選に際し理事となり、總務部長として今日に至つてゐる

▲理事就任後、約一年京城にゐたが、本社の東京移置と共に六年九月には東京に轉じ、その間滿洲興業株式會社の創立に關與し、その取締役をも勤めてゐる、這回理事の任地異動に際し、本社詰より川上君の後を襲うて京城駐在となつたのである、理事の任地異動は石塚總裁も云つてゐる樣に、既定計畫の實行であつて、そこに何も蟠まつた事情などは存在せぬのであらう、然し乍ら松平子は人物性行、殊に子爵議員と云ふ點より見るも、本社に腰を据ゑ、本社の務を擧るのがその適所であらう、朝鮮は東拓の根據地であり、その財源の供給所であり、最も多く活動すべき餘地のある土地である。そこに君の如き華冑出の人を据るのは公平に見て適所でないかも知れぬ、これ色々の臆測の起つた所以であらう

▲一見殿樣的の人物に見ゆる人であるが、謹厚にして誠實、言語態度共に俗界をぬけてゐる、努めて有爵者振らず、又平民化せん事に心せるやうに思はるゝ、唯餘りにその平民化を急ならしむべく、又辞けん事に心を用ゐてゐるためか、若干擧止動作に不自然の所はなきに非ざるやうだ、然ら大名出を鼻の先にブラ下げず、家柄を誇示せず、可重親切人に接し、よく人言を聞き、又よく世態人情に通じてゐる所に、子の凡骨ならざるを示すりと云へよう、上流華冑の人たるに拘らず何彼と云へば世評に上る大會社の重役として、其經營の衝に當つてゐる所にも、君の尋常ならざる點を見出してよからう。

▲性格は花やかでなく內氣である、消極の方であり、保守的受動的の人であらう、從つてグン〳〵新規の事業を目論むべく進んで行くとか云ふ所は缺けてゐる、川上君の手で朝鮮には大分事業も計畫も樹てられたらしいから、子は今後その整理大成に努むべき地位に立つであらう、仲々細かい所に氣のつく人らしく社員もその眼識には敬服してゐる、格別の道樂を有せず、唯將棋は仲々強いさうで今の青島民政長官秋山雅之介博士と好仲の間にあると云ふから、京城紳士連の間では一二を爭ふ指し人だらう

▲訂正　前回德川孝吉君とありしは德川孝吉君の誤植に付訂正す

大正八年二月迄の最新語を網羅せる

模範 新英和大辭典

神田男爵　寺野工學博士　横井農學博士　有賀文學博士　高松工學博士　肝付男爵　中村工學博士　神保理學博士　江木法學博士　平山理學博士　共編

各科學の權威英文學の泰斗たる二男爵八博士が其蘊蓄を傾倒して編纂せるものにして世界大戰勃發以後激增せし最新語例へば國際聯盟、タンク、スパルタカス團の如き集成して餘す處なし現下我國の英和辭書にして本書の如く最新語を網羅せるもの他に非ずと極言するを得べし

價格及體裁

樣式	最新形三六版
紙數	二千四百十餘頁
正價	金三圓二十錢
送料	內地金十二錢　臺樺鮮支金四十錢

株式會社 三省堂　東京神田　振替東京三一五五五

萬年ペン修理と販賣　京城本町 ウツボヤ [illegible]（電話二一五二七番）

新學期開講中 東洋英語專門大家にて講義 目下入學の好機 [illegible]
英語講義錄　英語斯界第一の講義錄也　講義錄見本付會則無代進呈
振替口座東京一二九四番　神田今川小路二ノ二 帝國英學普及會

法人登記公告
名稱 鮮滿金融合資會社 [illegible] 出資金壹千四百六圓 口數參百七拾九口 出資總額變更
大正八年四月貳拾八日登記
京城地方法院 [illegible] 出張所

名刺　京城 [illegible] 町 中田普成社　電話二一〇五番 振替京城四七六二

サクラビール

浪界の泰斗
二代目 桃中軒雲右衛門
雲右衛門京城に來る!!!
五月一日より五日間每夜正六時開演
尊皇愛國武士道鼓吹!! 朝野名士六十餘名の後援に依り堂々出演。後援者を代表して特に森脇天涯氏を請ひ後援に關する趣旨演說を煩はす

（雲後援會）
[illegible]

於 黃金館
主催 雲後援會
後援 サクラビール

◉御注意　從來二代目姓を名乘りて來りし者とは全然別人に有之候

史記國字解

▲本書は一部完璧の單行書也、而かも裝釘は漢籍國字解全書と同一なれば合せて一部の大叢書となすべし▼

史記全部の國字解成る。本書古來全部に亙る國字解なし。其完備せるものゝ實に本書を以て嚆矢とす。此不朽の大文章は漢文の行はるゝ限り萬戶必備の書たるは喋々を要せず。而かも之を現代の用に供せんには自ら其法なかるべからず。是れ當部が斯學の大家を煩はし多年を費して全部に亙る講述を求め敢て空前の出版を企てたる所以なり。若し夫れ講述の深切懇到なるは既刊の漢籍國字解全書之を證して餘りあり。紙價暴騰の今日低廉の豫約價を附したるもの實に廣汎の流布を希ふに因る。

講述者

本紀・表・書	本大學教授	桂湖村
世家	同	菊池晚香
列傳上	同	松平康國
列傳下	同	牧野藻洲

要項

體裁	菊判布製八冊四千餘頁
送本期	六月より每月壹冊宛發行
豫約價	即納金拾四圓　分納貳圓八回
送料	壹冊壹回に付東京市內金六錢　內地金拾六錢　支鮮樺臺廿五錢

◉豫約申込 五月卅日限。見本送呈
注意 豫約以外に販賣せず、分賣せず

◉東京市牛込區早稻田 振替東京一一二三番 早稻田大學出版部 電話 番町三四五、番町三七四（交換）

時計 貴金屬 製作 販賣 岐阜商店 本町 [illegible]

笹山章 著　ポケット型 定價五十錢 送料貳錢
新案獨學 イロハ譯典付
鮮語自在
好評 再版出來
ウツボ屋書店發行
著者は鮮語研究に從ひ爾來の所謂獨學書と其趣を異にし [illegible]
發賣元 京城日報社代理部　振替京城三〇〇番

◇修正案採用
實行委員會代表指名

修正國際聯盟規約は廿八日午後何等修正無く公式に採用されたり右修正案の要綱左の如し
修正案は大綱に於て變化なく變改を見たるは只職權の擴張にして一も縮縮したる箇所なし全然新規の規定はモンロー主義を始め其他二三事項の記事方法に關する規約は前文よりも明瞭となれり原案第七條は大いに敷衍の上新草案第一條に置かれ文書も多少修正せられたり國際聯盟本部は寿府に置くこととなりしが執行委員會は同時にても決議の上之を他に移す事を得本案全文の字句は多少變更せられたるも其の意には變化なし本案第一條は前案第七條の敷衍にして其加入は本案附錄に列掲せり
（一）聯合國（二）無條件を以て加入すべき中立國（三）附錄に掲載せられざる自治國又は自治植民地とす
戰後のものに加入は聯盟規約及び陸海軍費に關し聯盟の規定する所を忠實に遵奉するの保證をなし聯盟總會三分の二の許可を得るを要すモンロー主義に關する條項は第廿一條に挿入せり曰く同規定は仲裁條約若くは平和の維持を以て目的とするモンロー主義の如く地方的協約を妨ぐる事なし
右の外刮目すべき規定は
一、聯盟常設書記局の組織にしてその役員は前條と同じく之を任命することを得又書記長は戰時又は戰爭破裂の恐れある場合加入國より要求あれば其如何なる國を問はず直ちに執行委員會を召集する事を得書記長は講和豫備會議に於いて指名せらるゝ筈なり
二、婦人小兒奴隷賣買阿片其他危險藥品賣買監督規則に就て重要なる追加は加入國代表總會議又は執行委員一致の贊成を要する事とし各特別委員會の票決は出席委員過半數に依る事としたる二點也
サー、イリック、ドラモンド氏書記官長に尚又日、英、佛、伊、米五大國並に白耳義、西班牙、希臘、伯剌西爾四國は實行委員會代表に指名されたり（巴里發甘東京至急電報）

◇調印遲延を許さず
獨逸攻勢再開可能

（巴里特約員發電）前駐英獨逸大使リヒノウスキー公曰く『聯合國の講和條件を見るに之れ徒らに獨逸をして第二の戰爭を準備せしむる事已むを得ざる可し』と蓋し獨逸が右講和條約に調印す可きや否や目下盛に問題として論議され居るも獨逸人が多少の恫喝を試みて出來る丈け形勢を有利ならしめんと企てつゝある事疑ひ無し然れば聯合國は獨逸の調印を遲延せしむる事を許さゞる可し殊に聯合國の軍事當局は獨逸の軍事狀態が以て攻勢を再開する事實に可能なりとの確信を有せり

◇難關に屈せず邁進
＝山東問題意見一致＝

三十日の外交調査委員會にて山東問題に關しては如何なる難關に遭遇するも既定の方針に向つて邁進すべく各委員の意見一致し更に講和委員を督勵する筈なりと（東京特電）

◇伊國脫退と支那

二十九日國務會議後北京政府は陸徵祥氏に宛て左の電報を發せり（北京電報）
支那は純然たる歐洲問題に何等主張する意思無きも伊太利の脫退に就きては遺憾に堪へず支那は伊太利が再び會議に加入し和議成立に盡力せん事を希望す仍て右の意思を各國講和委員に傳達せよ

◇伊國態度强硬
英佛米三首領より最後の勸告

英佛首相及びウイルソン、オルランドの四氏は二十四日會見したりし之れ他の三首領よりオルランド氏に對し伊太利のフユーメに關する要求を拋棄せん事を勸告する最後の試みたりしなり然るにオルランド氏は之に先だち陳述書を發表して曰く吾人は伊太利をして如何なる意志にも屈從せしめんとする强制的態度に反對す伊太利には伊太利人自身の意志ありウイルソン氏の陳述書は伊太利人をして其の政府に反對せしめんとするものなり

◇伊紙日本に同情

ウイルソン氏の所說に從ふが如きは伊太利人の思ひ及ばざる處なり獨伊國皇帝はオルランド氏に對し强硬なる態度を保持す可き旨を命令したりと（巴里電報）
伊太利各新聞紙は聯合國の日本に對する態度を非難し之れ全く國際聯盟の根本主義を蹂躪する最も著しき適例なりと攻擊し尚米國が亞細亞、太平洋、阿弗利加各地に於いて自己の利益を獲得する事に汲々たる態度を痛擊せり（巴里電報）

◇伊國日本海軍特使招待

伊國海軍大臣は羅馬を訪問せる日本海軍特使一行を招待し晩餐會を催せり席上同海相と佐藤海軍少將との間に懇なる演說交換されたり（羅馬電報）

◇印度新令發布

印度總督は更に新令を發し軍法會議其他にて有罪の決定を受けたる犯人に對し終身又は十年の遠島七年乃至十四箇年の嚴酷なる禁錮の宣言を與へ得る規定を公布せり尚同時に印度國防令及び新聞紙法も亦改正されたり（印度シムラ電報）

◇伍朝樞
會議參與許可

廿八日北京政府は陸徵祥氏に宛て伍朝樞氏を講和會議に參與する事を許可する旨電報を發せり（北京電報）

◇兩大臣叙勳

一日左の通り辭令ありたり（東京特電）
遞信大臣　野田卯太郎
文部大臣　中橋德五郎
叙勳一等授瑞寶章

◇鐵道院改制

鐵道院にては本院、管理局全般に亙りて制度上に改正を施し五月一日より實行すべく三十日此旨發表せり（東京特電）

◎御成年式奉祝
總督の受賀

東宮御成年式祝賀當日（七日）は總督府及び所屬各官署始め休業奉祝の筈なるが當日長谷川總督は官邸に於て三大祝日と同樣政務總監以下勅奏任官の祝賀を受くべく同時に民間各銀行會社も休業祝意を表すべしと

◎金肥配給決定
東拓の計畫

東洋拓殖會社にて今春同社の移民並に小作人及び一般農民に配給すべき金肥は總計大豆粕三十九萬九千枚バラ粕三千袋その他油粕米糠過燐酸石灰等を通じて總計百十三萬圓なるが右肥料を金堤榮山浦大邱馬山四出張所管內を主とし各地の水利完備田に施與せしむる事とし既に會社との契約も終り目下現物の配給中なるが右肥料を大豆粕に換算し一反に一枚半を入るゝものとせばその金肥普及面積は二萬五千町步に達すべく假りに一石を增收するものとせば二十五萬石となるべく石十二圓と見るも約三百萬圓見當に上る

◎朝鮮航路現況

朝鮮近海及び沿岸定期船に就き當局に聞くに沿岸のみの航行するものは命令自營合計百八十七艘五千百五十噸近海及び沿岸を航行するもの命令自營合計三十一艘三萬九千七百二十七噸總計二百十八艘四萬四千八百七十七噸なり其內容を示せば左の如し

▲沿岸のみを航行

區分	船主	艘	噸
命令	朝鮮郵船	一七	[illegible]
命令	鮮南汽船	三	[illegible]
命令	錦江汽船	一三九	[illegible]
命令	森利兵衞	一	[illegible]
	計	一六〇	四、六四三
自營	山本寬次郎	三	[illegible]
自營	川中作彌	三	[illegible]
自營	其の他	三	[illegible]
自營	命令使用船併用	三	[illegible]
	合計	一八七	五、一五〇

▲近海及び沿岸を航行

區分	船主	艘	噸
命令	朝鮮郵船	七	[illegible]
命令	日ノ出商會	三	[illegible]
命令	大阪商船	二	[illegible]
命令	大連汽船	三	[illegible]
命令	五光商會	一	[illegible]
命令	阿波共同汽船	一	[illegible]
命令	對馬運輸	一	[illegible]
	計	一七	二二、六六二
自營	朝鮮郵船	一	[illegible]
自營	大阪商船	二	[illegible]
自營	東洋汽船	二	[illegible]
自營	山下汽船	一	[illegible]
自營	岡田汽船	一	[illegible]
自營	原田公司	一	[illegible]
自營	湊山商會	一	[illegible]
	計	九	[illegible]
官營	鐵道院	五	一、八九四
	合計	三一	三九、七二七
	總計	二一八	四四、八七七

◎釜山正米活況

明米激動無きも內地正米好況に買注文多く爲に釜山市場も活況を呈し四五十錢高の三十六圓四十錢にて一萬四千俵の商談出來たり尚大豆は强持合の氣勢なり（釜山特電）

◎財團抵當令要旨
＝當局者の說明＝

財團抵當令は愈々五月一日より朝鮮に於ても內地の財團抵當令に準じ之を施行せらるゝ事となりたるが右に就き當局者の說明に曰く
財團抵當令は工場の所有者、鑛業權者、輕便鐵道又は軌道の營業者が工場、鑛業、輕便鐵道又は軌道に屬する一切の財產を包括して一箇の財團を組成し之を抵當に供して資金の融通を圖ることを得せしめ以て斯業の發展を助成するの目的にて制定せられたるものにして近來朝鮮に於ては時勢の進運に伴ひ各種の事業勃興し企業熱旺盛を極むる折柄此の制令の發布を見るに至りたるは社會の要求に順應し資金の融通を圓滑にする適當の措置として一般に歡迎せられつゝあり財團抵當令は內地法を準用し工場に屬する土地又は建物及工場財團の抵當に關しては工場抵當法を鑛業財團の抵當に關しては鑛業抵當法を又輕便鐵道及び軌道の抵當に關しては明治四十二年法律第廿八號（軌道の抵當に關する件）に依ることゝなせるを以て
▲規定の內容　は大體內地法と異なる所なし工場抵當法に依るときは營業の爲物品の製造若くは加工又は印刷若くは撮影の目的に使用し又は營業の爲め電氣若くは瓦斯の供給の目的に使用する場所は之れを工場と稱して其の所有者へ工場に屬する土地建物の上に抵當權を設定し又は工場に屬する土地及び工作物、機械、器具、電柱、電線、配置諸管、軌條其他の附屬物、地上權、貸借權、工業所有權の全部又は一部を以て工場財團を組織し之を一個の不動產として抵當
▲工場の抵當　に付世人の注意を要する二三の點を擧ぐれば
一、工場に屬する土地建物は特に財團と爲さずして抵當に供し得べく此の場合に於ける抵當權の效力は土地建物に附加して之と一體を成したる物は勿論土地建物に備附けたる機械、器具其の他工場の用に供する物にも及ぶものなるを以て普通土地建物の抵當とは其の效力の及ぶ範圍に廣狹の差異あるのみならず抵當權の目的たる物が假令第三取得者に引渡されたる後と雖其の物に付抵當權を實行することを得べく又土地又は建物の差押假差押又は假處分の效力は工場附屬の動產にも及ぶべし
二、工場財團に屬するものは之を讓渡し又は所有權以外の權利、差押、假差押若は假處分の目的とすることは之を許さず
三、工場財團の設定を爲すには工場財團に屬すべき物が未登記の土地建物又は船舶なるときは普通の登記簿に先づ所有權保存の登記を爲したる後工場所在地の登記所に工場財團に屬すべき一切の財產目錄を提出して工場財團所有權保存の登記を爲すべきものにして其登記を爲す場合に於ては登記所は工場財團登記簿に登記を爲すと同時に一面工場財團に屬する土地建物又は船舶に關する普通の登記簿に其の物が工場財團に屬すべきものとして財團所有權保存の登記の申請ありたる旨を記載する定なるを以て如何なる物が工場財團に屬するやは工場財團登記簿に依りて之を知るを得べく又或る特定の土地建物船舶が工場財團に屬するや否やは其の物に關する普通の登記簿に依り之を知るを得べし
四、登記所は工場財團所有權保存の登記を爲す際朝鮮總督府官報を以て工場財團に屬すべき動產に付權利を有する者又は差押假差押若は假處分の債權者は一定の期間內に其の權利を申出づべき旨を公告し其の期間內に權利の申出なきときは其の權利は存在せざるものと看做し差押假差押又は假處分は其の效力を失ふものたり
五、工場財團所有權保存の登記ありたる後は工場財團に屬すべきものにして登記又は登錄ある物は之を讓渡し又は所有權以外の權利の目的と爲す事を得ざるものたり
鑛業財團は鑛業權、土地及び工作物、地上權及土地の使用權、機械、器具、車輛、船舶、牛馬其他の附屬物等鑛業に關するものにして其設定に關しては同一なる其他抵當權の設定及び效力等に付いては大體工場財團と異る所なし

▼輕鐵財團抵當
鐵道當局談

財團抵當令に依る輕便鐵道財團抵當取扱規定は一日總督府官報を以て公布せられたるが右に就き鐵道當局者は語りて曰く輕便鐵道の普及は朝鮮に於ける
▲地方開發上　刻下の急務にして政府に於ても大正三年以來補助を與へて該事業の助長に努めたる結果企業者は年々著しく增加するの狀況にして大正三年度に於いて僅々二十餘哩に過ぎざりし輕便鐵道は七年度に於いて約百五十哩に達し其の他既に敷設許可を得て未だ開業に至らざるもの四百三十哩敷設申請手續中のもの約七百七十哩にして之等各線全通の曉には其の延長實に一千三百餘哩に上るべし然るに企業者は事業の經營特に建設費其の他の
▲事業資金の　借入を要する場合鐵道及び附屬物件を個々別々に擔保に供することは從來は多く取締役の連帶保證に依りて借入を爲すの慣例なりしも取締役の連帶と云ふも各種の不便ありて必要なる資金を得るに困難なるを以て財團抵當令の施行に依り輕便鐵道又は軌道財團を組成し之に抵當權を設定して借入金を爲すの途を開き資金の流通を便ならしめん事を期したり

◎京畿地方費豫算

大正八年度京畿道地方費歲入出豫算は今回總督府の認可を受けたるが總額百九萬三千二百九十八圓にして前年度の九十四萬五千四百三十一圓に對比し十四萬七千八百六十七圓の增加を示せり豫算面左の如し
▲歲入（經常部）
第一款賦課金四十四萬四千五百三十四圓第二款臨時恩賜金受入三十六萬八千七百二十九圓第三款雜收入三十八萬三千七百二十九圓
臨時部
第一款繰越金七千圓第二款國庫補助金拾四萬一千四百七十一圓第三款雜收入八千十九圓第四款寄附金十九萬九千九百五十九圓歲入總計金百九萬三千二百九十八圓
▲歲出（經常部）
第一款土木費七萬八千六百八十七圓第二款衞生費四千八十圓第三款救恤及[illegible]業費一萬四千三百十六圓第四款勸業費九萬二千四百九十一圓第五款授產費三十一萬二千三百二十五圓第六款教育費四萬二千四百八圓第七款地方費取扱費一萬九千百五十四圓第八款豫備費三萬二千百十二圓歲出經常部合計金六十一萬九千三百二十七圓
臨時部
第一款土木費二萬六千四百二十三圓第二款勸業費七千七百三十九圓第三款授產費九千八百九十五圓第四款教育費八千九十六圓第五款補助獎勵費三十五萬八千九百八十六圓第七款臨時手當四萬八千八十六圓第八款臨時恩賜金繰戾一萬二千七百四十七圓歲出臨時部合計金四十七萬三千九百七十一圓歲出總計金百九萬三千二百九十八圓

◎標柱夜間表示廢止

今回仁川港內突堤工事上の都合に依り仁川港內突堤標柱中第一及び第二標柱の夜間表示は之を廢止することゝなり且又通航船舶は各標柱間を航行することを得ざることゝなり二日の官報にて告示さるべし

◎長距離電話架設

京城管理局に於て龍山釜山及び平壤間長距離電話架設の事は既報の如くなるが五月一日龍山大田草梁及平壤に於ける長距離加入者を指定し同時に通話方に付局員一般に注意する所ありたり

◎光化門金融組合總會

京城に於ける中流以下の商工業者の金融の便を圖らむが爲め目下設立準備者各進捗し既に拂込濟組合員三十二名、口數二百五十二口、出資拂込濟三百八十七圓に達したるが來る十日午後二時より銀行集會所樓上に於て創立總會を開催する由なり開業の曉は光化門郵便局の東隣に事務所を設くべく目下修築中なり。

◎富寧學校組合

咸鏡北道富寧郡に富寧學校組合設置の件は豫て木下秀清外五氏より出願中の所四月二十九日附許可の指令ありたり

◎尋常小學校設置

京畿道南河東郡橫川學校組合管理者原安太郎氏より申請中なりし橫川公立尋常小學校設置の件は四月二十日附を以て認可せられたり

◎保險會社支店

大阪市南區上本町七丁目山口吉兵衞氏より申請中の生命保險業を目的とする日本生命保險株式會社支店（資本金百五十萬圓）を京城に設置の件は四月三十日附を以て許可せられたり

◎杉山總長赴任

關東廳事務總長杉山四五郎氏は赴任の途二日午前九時二十五分南大門驛發同五十分發列車にて北行すべし尚入城說もあれど確ならず

◎廣瀨主計監發期

陸軍經理部長より陸軍經理學校長に轉勤を命ぜられたる廣瀨主計監は來る四日午前龍山驛發列車にて出發赴任す可し

◎芳澤參事官發期

調查事務未了の爲め出發を延期せる芳澤大使館參事官は一日江景方面へ赴きたるが三日朝退城歸東すべしと

◎藤村本社支配人出張

本社支配人藤村忠助氏は往復三週間の豫定を以て一日夜出發下關大阪東京の各地へ出張せり

◎京管執務時間改正

遞信京城管理局にては執行時間を左の如く改正し五月一日より之を實施せり
▲九月十一日より翌年七月十日迄午前九時より午後四時に至る
▲七月十一日より九月十日迄午前八時より午後二時に至る
尚は現業從事員の勤務時間は從前の通りなりと

◎京畿家畜現況

客年末現在に於ける京畿道管內家畜家禽狀況を聞くに牛五萬三百六十七頭　牝六萬壹千六百七頭　計拾壹萬壹千九百七十四頭　馬壹千三百八十九頭　驢二百五十頭　騾八十一頭　豚七萬四千六百十五頭　山羊三百五頭　緬羊三十三頭　鷄四十三萬四百二十一羽なり而して前年に比する時は牛に於ては四千七百五十五頭　驢に於ては十一頭　豚に於ては一千二百八十二頭　山羊に於ては七十五頭　鷄に於ては三萬七千六百廿八羽何れも增加を示したるも馬に於ては二頭　騾に於ては四十一頭　緬羊に於ては六十五頭何れも減少を見たり

人事消息

▲生田淸三郎氏（總督府商工課長）石炭問題のため大連へ出張を命ぜられ一日午後十一時南大門驛出發目的地に直行せるが氏の旅程は約一週間なりと
▲井上正治氏（古河商事會社重役）一日夜入城朝鮮ホテルへ
▲內藤政次氏（久原鑛業社員）同上天眞樓へ

烏瞰錄

▲英國首相ロイド・ジョージ君と『タイムス』社主ノースクリフ卿とは好々爺のアスキス首相を追出して獨逸に打勝つまでは餘所目も羨ましい程の仲善しであつたが講和會議の開催後兩者の間が漸次に乖離して此頃ではお互ひに突かうの身構へとなつた▲ロイド・ジョージ君の方ではノースクリフ卿の事を『饜くなき虛榮漢』と云へばノ卿はジョージ君を『法螺吹き、胡麻化し』と罵る▲才子同志の組合せだから仕方がないが一方ノ卿は『タイムス』以下英國最大新聞數個の持主で新聞界のナポレオンと云はれる程の人物である▲ロ首相も亦喧嘩買として大膽不敵な木堂君それも昔の木堂君の十人力もあらうと言はれるから此取組は講和會議上の見物とも云へる▲ロイド・ジョージ君と云へば最近の外字新聞に同君の幼年時代の一挿話が載つてゐる▲夫はジョージ君が十四歲の時伯父のリチャード・ロイドが彼を將來何にしたものかと心配した▲心配の揚句一策を案じ一冊の聖書と一個の林檎と一志の金を持たして彼を一室に入れた▲以爲彼が若し聖書を選べば牧師とすべく、林檎を取らば園藝家とすべく若し又金を欲すれば辯護士とするつもりであつた▲所が暫く經つて伯父さんがジョージ君の室へ這入つて見たら、彼は聖書に腰を掛けて林檎を喰ひ乍ら金をポケットに捻込んで居た▲梅檀は双葉より芳しく橫着な男は矢ツ張り子供の時分から橫着だ

東京米特電

東京株式

神戶期米特電

購讀の好期

●開店滿五週年紀念大特賣
▲內外圖書、文房具、運動具一切　割引提供
▲特賣圖書（千數百冊）二割以上六割　割引高
本町　大阪屋號書店　電話一〇八六番・六八四番

提供短期

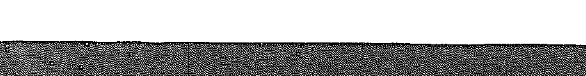
貴下の遊金を如何に運用すべきか？
富の增進　一生一代に富の程度を增進するとせざるとは只資金運用の巧拙如何によつて決せらる、徒らに資金を死藏して拱手成り行く儘に放任し置かば終に生涯碌々の事も出來ず成功者としての名譽を博すると難し
貨殖の秘訣　資金を巧妙に運用する時は知らず識らずの間に元は子を產みて財產の膨大を圖り得らる、貨殖の秘訣とは如何、安全にして確實なる捨たりなき貨殖方法あり、富の增進を圖らんとする者は直ちに端書にて御申込あれ絕好の資料を送附すべし
注意（弊社の貨殖機關は法規に基き認可を得たる完備せる組織にして他の類似のものと玉石混同する勿れ）
大阪市東區北濱二丁目七番地
資本金五拾萬圓　北濱證券株式會社
業務擴張の爲め各地に代理店を增設す　希望の方は至急御照會あれ

中學世界
本誌增刊　受驗界　は愈々明日出來致します
お待兼の五月號
全國師範生の悶え…爲藤五郎
大正新立志傳…救世軍の山室軍平大佐
精神の疾病に及ぼす影響…寺澤文、醫學士
意氣と生意氣…文學博士三宅雪嶺
科學講話　怒髮冠を衝く…理學博士飯塚啓
好きな生徒
學生小說　棘ある杖…鈴かけ次郎
方言問答　山形人と薩摩人との對話
老力士と青年…宮崎光男
▼探偵小說　湖畔の災難屋敷…廣田花崖
▼學生小說　饑拔の後…金田喜造
定價二十八錢　郵稅二錢　東京本町　博文館　振替東京二四〇番

我が縣下の青年諸君
本縣下の青年諸君は悉く中等教育の素養ありや。現代に於て中等教育の素養なき者は遂に社會の落伍者たるを免れざる也。事情の爲め中學校に入ると能はざる青年は奮て吾が大日本國民中學會に入會せよ、本會の講義錄に依りて學習せば中學卒業生と同等の學力智識を得べし。
本會講義錄は曩に賞金壹千圓を懸けて發見したる三段式教授法に依り根本的刷新を行へるものにして、其の形式の斬新なる、其の講義の懇切なる、其の內容の完全なる、正に斯界獨步の觀あり、歷代の文部大臣より激賞を受けつゝありしが今や畏くも皇太子殿下の台覽の光榮を擔ふに至れり、詳細なる見本規則書は東京神田駿河臺大日本國民中學會宛申込めば直ちに無代にて發送せらるべし。
目下第三十一回新學期に際し入會の最好機會なり。
大日本國民中學會京城支部

京日案內
▲古本熱心高價買入　本町二丁目　群書堂
代診、看護婦並見習入用　仁川宮町　松本病院
●古物高價買入　交換依託　注文御應　黃金町三丁目　古物店
看護婦及見習募集　希望者至急履歷書携帶來院　京城明治町一　贊化病院　電話二四一番
外勤社員招聘　月給優待す　商品月賦販賣報國公債朝鮮支部　京城若草町一〇六　電話三千十一番
◇乘馬一頭買受度し（姓名在社）
◎ほねつぎ　うちみ　一切の治療御依頼に應ず　明治町　柔術道場
集金兼外交員募集　府內の事情に通じ且外交に巧みなる者希望者履歷書携帶午前中本人來談　長谷川町七六
移轉　左記へ移轉仕候　京城南山町一丁目十六番地　電話二八五〇番　產婆　西島ツギ
◎助手數名入用　京城本町一丁目　飯塚齒科醫院

京城府南大門通一丁目
鮮滿發賣元　宮川大學堂　電話長二九九九　振替京城一〇二八
目錄進呈

特約店募集
春は來た野に山に
來た海に來た
晴れくと
外出に
忘れ給ふな
事務にも學事にも
萬年筆のワシントン


法人登記
金化金融組合登記事項中大正七年度末日現在ノ出資總口數五百七拾口拂込ミタル出資ノ總額ヲ參千四百八拾九圓八錢ト變更ス右大正八年四月貳拾八日登記
京城地方法院金化出張所

◎官費傳習生募集
卒業後ハ一定年限航路標識看守ノ業務ニ從事スヘキ十五歲以上二十歲以下ノ內地人男子ヲ募集ス詳細ハ五月一日以降ノ朝鮮總督府官報又ハ最寄郵便局所ニ就キ承合スヘシ
大正八年五月　朝鮮總督府遞信局

東京現株中値 一日中値 東京株 新株 二四八、〇〇 二三五、〇〇 同新 三〇九、五〇 東新 二〇五、〇〇 横濱取引 新高製糖 二一〇、〇〇 朝鮮銀行 東拓新 一七五、〇〇 一七五、五〇

大阪株式特電 一日後場 前場 後場 二三〇、九〇 一六一、九〇 二三四、〇〇 一五二、〇〇

大阪三品 一日 三二三、七〇 三三一、五〇

下關期米特電 三二八、五〇 三二八、四〇

○我特使の年費が六百萬圓の勘定
家賃丈でも百五十萬圓
維耳遜氏が一番使はぬ

巴里媾和の我が講和委員一行が本部として借り切つて居るブリストル・ホテルは月額十六萬法（邦貨六萬四千圓）で他のムーリス、バンドノン、コンチネンタルの三旅館にも間借をして居るが西園寺牧野兩特使一行のムーリスの高價は目を廻す程だ年末迄には家賃だけでも百五十萬圓に上る調度ら大變だと驚ひ込んだ

◆十六臺の 自動車や數箇の大金庫室內用具裝飾品だけでも既に卅萬圓前後で自動車一臺に雇人給や油代が每月入るしボーイ雇人の手當てだつて月々約二萬圓づゝ嵩むなるのに電報料が亦素晴らしい兩三日前に落了した國際聯盟附屬の草案は其籍にしても三百五十頁に餘り委員會の討議箇條だが千滿條だと云ふ電報料が年に亘つて莫大な額に達するでせう併し

◆一巨額 なのは矢張り俸給外手當で松井大使は本俸六千圓以外に巴里在勤手當年額三萬圓を受けて居る西園寺牧野兩特使は本俸こそなけれ手當は飛切りで九十五人分では年額三百萬圓を越ゆるだらうそれに今年中の借家賃百五十萬圓備品及び宴會費七十萬圓電報料及び

◆雇人費の 八十萬圓等を加へると六百萬圓だ列國代表者中一番金を使はぬのはウイルソン氏は先月末までに米國政府から八千圓を貰つた切りで氏が鏡の間の會場のボーイに與ふる一回廿五弗のチップが一番少額な相である

○我面內から縄付が出たら割腹して申開きをする
眞似の出來ぬ面長の言動
入道教徒へ痛快な皮肉

京畿道水原郡陰德面々長金錐俊氏は今回の騷擾にて隣接面里に盛んなる示威運動開始さるゝに當り附近里長並に住民の

▼主なる者 を召集し朝鮮を獨立するが如きは到底不可能なりと詳細なる說諭を爲し一同ご騷擾に雷同せざる樣戒告する所あり尙又『獨立可能と認むる時期到來せば予（卽ち面長）は諸君よりも先に之が運動を開始すべければ予が開始せざる以前に於ては斷じて騷擾に加擔すべからず、若今回の運動に加入せむとする者は先づ豫め予に

▼其の姓名 を通じたる上にて爲すべし』と嚴重戒告する所あり更に管內の耶蘇敎天道敎信徒の全部を召致し或は自ら敎會に赴きて『今回の騷擾は兩敎徒が陰に煽動しつゝありとの事なるが本面內に於て若萬一騷擾起りたる時は諸君等が煽動したるものと見做して官憲に急報すべし』と正面より通告して彼等の輕擧

▼妄動を壓 へ陽城邑其他に於て內地人殊に婦女子が危險を虞れ京城其他に避難せむとするや極力引留め予は身を以て諸氏を保護すべければ引揚ぐるに及ばずと力說し強て引揚ぐる者に對しては自ら人力車乘馬等を斡旋し安價に而かも避難せしめ其懇切なる取扱ひは一同に感淚を催さしめたり騷擾

▼稍鎭靜に 歸するや各里長を面役所に召集し『朝鮮が獨立不可能なるは予が旣に述べたる通りにて予の所見は正しく適中せり而して此機に乘じ徵稅に努め他面に甦る、事勿れ』と訓諭し今回の納稅を怠る者は獨立運動に加擔したるが故に納稅せざる者と見做さるゝに至るべしとて各洞里を

▼巡回して 勸告しつゝあり又同面長は騷擾の爲め本面中より人の檢擧さるゝに至らば予は先づ割腹して申開きを爲すべしと一同に告げ居れり心中深き覺悟を有する者の如しと

○兩殿下 御思出に
御感慨深し 洪陵御參拜

卒哭の御儀を終られたる李王殿下李堈公殿下並に御宗戚其他は一日午前十時卅分自動車にて恙なく金谷里洪陵に御着二殿下には齋室にて御少憩あり間もなく陵殿御展謁あらせたるが二殿下には打ち沈ませられ御思ひ出に感慨いと深き御模樣に拜せられたり斯くて御陵を下りて御少憩の後更に

◇行親祭 の御儀行はれ二殿下親しく御參拜あり午後三時ごろなれば二殿下には又故太王殿下に親しく夕上食を行はれ次で陵殿の儀を行はせられ滯りなく御儀終了ありたるを以て午後三時二殿下宗戚以下自動車の列を正して京城に向はれたり東大門外より鍾路通り一帶の

◇沿道の 住民は路上に並び今日の王殿下を拜せんと一般の人垣を築きたるが午後四時十頃郊外の軍人を乘せたる自動車二臺を先驅として東大門を入り鍾路通りを經て午後四時廿五分德壽宮に御歸還相成たり猶王殿下昌德宮に御還御は二三日後の由

○進步した無線電信
歐洲大戰の賜
石井工兵少佐談

龍山に新設される軍用無線電信所の工事監督として陸軍省から特派された工兵少佐石井英橋氏は語る

今次の歐洲大戰に於て陸軍用無線電信の進步發達は驚くべきものがある大戰前は軍用にも一般用にも電氣振動を超し其電波を受けて居たので隨分大規模のものもあつたが學理的には持續電波式がより優良であつたが其受信設備が出來て居なかつたので事實的に使用が出來なかつたが戰爭中に其受信機の發明が完全になつたので軍用は勿論一般にも此持續式が採用され出した此式の受信機には

眞空管が用 ひられてゐるのである元の衰弱火花式の鑛石檢波器と云ふ受信機よりも一層銳敏に感受するし小さな電波を擴大して受ける作用も持つてゐるし又眞空管自身でも電氣振動を起し得るものである從つて發信の電力は小さくとも遠距離迄も達する事が出來又狹隘な一小地區で輻輳した電波の混信を避くる事も容易であるから

澤山の場所 で澤山の機械を交互に使用する事も出來るのである其上に裝置が非常に簡單なので發明が完全になると直ぐ實用に供せられ一方單用通信にも最も適當なので各國共に軍用には此式を採用して居る、陸軍では從來無線電信が左程に利用されて居なかつたが歐洲大戰で長い塹壕の場合に其第一線は絕えず砲彈の集中が甚だしいから有線電信では線を

損傷する度 に通信が出來なくなり、又隊が急に前進した場合にも線を架設せねば通信が出來ぬと云ふ不便が伴なふので各國共に此點に工夫を重ねた結果自動車裝置の野戰用無線電信機を作つたのである、現在は野戰用にも後方の軍用にも無線電信の威力によつて多大の効果を收めてゐる、歐洲大戰に依つて無線電信が如何に進步したかは大體是で判ると思ふ、翻つて我が日本は如何

帝國海軍が 無線電信を利用しつゝあるは日露戰役の際にも充分示されてゐるが陸軍でも以前から無線電信調査委員會を設けて調査研究に努めて居たのであるが中野交通兵團の內には旣に無線電信中隊があつて將校兵卒共に其實地的研究實施に從つてゐるし、又野戰用の無線電信機に關しても充分研究もしたし現に

精良な機械 が作られつゝあるので歐洲列國が實戰の經驗によつて得たものに比し決して劣つて居ないのは事實であり、兎も角も輓近に於ける無線電信の進步は實に驚嘆すべきものである。

移植　百花園にて

○爆藥を使つて開墾
立木も岩も直ぐ取れて土壤の入換まで出來る

『爆藥も現在では軍事上ばかりでなく工業上では主に鑛山土木用として疏水隧道等に用ゐらるゝが

▽開墾こそ は目下爆藥使用の時代である年々六十萬の人口が殖ねて翌年でも食物が足らぬと云はれる時翌日からでも植付の出來るのは此爆藥開墾で硝石、綿火藥、鹽酸などを主とした下等なもので結構で立木も岩石も一度にひつくり返して

▽地底深く 土壤の入換までも出來る米國などの例を見ると爆藥耕作は收穫が二割五分多いと云ふ歐洲戰でも砲彈で地の掘れた所へ馬鈴薯などを落したのが頭位の大きさになつてゐるといふことさへある

▽漁業方面 では捕鯨が第一であるが水は壓縮することが出來ぬものだから一箇所に爆藥の壓力を加へると廣い範圍に及んで魚類が人事不省に陷る斯うなると鮪でも浮いたのを掬つて捕れるが繁殖、産卵の方面からは問題となるかも知れぬ動力に使ふ方面は專門家もまだ研究中で發表の域に達せぬ相である』

○火夫の選擇も肝要
考へねばならぬ石炭問題
出來るだけ節約せよ

撫順炭の値上と同時に撫順炭の輸移入數量が減少した爲め京城、仁川は內地炭の補給を仰がねばならぬ事になつた、今迄は滿鐵の爲めに撫順炭を使用してゐたから石炭に對する研究も亦

▽石炭節約 に就いての智識も持たなかつたが是からはそんな事では迚も經濟に合はなくなつたので勢石炭の研究節約と云ふ事が必要になつて來た右に關し某氏は語る『內地の一等炭同樣の撫順炭を使ひ慣れた朝鮮では石炭は撫順の塊炭に限るものと思つてゐる、幾分か贅澤でもあるさ

▽粉炭は捨 てゝ居ると云ふ始末である又ボイラーに石炭を焚くのにも火夫には撰擇の樣な低級な人間を使ふから彼等は無暗に石炭を焚き詰める、畢竟此ボイラーには幾何の石炭を焚けば最大能率を發揮し得るかと云ふ事を知つて居ないから無暗に焚く事などには構はず常に

▽必要以外 に石炭を焚いてゐる譯である然るに內地邊では火夫にも相當の智識を注ぎ込むから決して窓を開けて置いて暖爐を焚くやうな迂愚な眞似はやらない、之だけでも隨分の節約が出來るのである、尚ほ撫順炭のやうな塊炭の一樣なものに慣れてゐると內地炭なぞは鑑別が出來ぬので莫迦々々しい結果を見ることがある、如何なる

▽小工場で も濁層でも悠々三十噸位の內地炭を使用するとなると石炭の選擇と爐の節約は是非心懸けて欲しいと思ふ』

正眞正銘 實錄先代萩
大槻如電翁が執筆
捨てるに惜しい飯炊きの場

『先代萩』の芝居と云へば三つ子も知る有名なものだが今度從來の行き方と全然違ひ一々實錄に依ると正眞正銘の『實錄先代萩』を大槻如電翁が執筆して近く

◇市村座 で菊五郎吉右衛門等の座附き俳優で上演する如其脚本は兒が全部書いたのではない兒が筋を立て脚色は確か松居松葉君がする筈だ事の起りは我々仙臺藩の有志が伊達安藝の銅像を松島邊に建る計畫をしたが資金で行惱んで居た夫れを市村座の田村君が知つて此脚本を上演して其

◇純益を 寄附して見る事になつたのである實錄と云つても芝居と非常な相違はないが芝居の中心人物の乳母の政岡は實は鶴千代君の實母で綱宗公の奧方だつた人だから無論苦心を舐めたには違ひないがあの飯炊をしたかどうかは甚だ怪しい尤もこの事は芝居の眼目だから兒も省かない樣に云つて居たそれから芝居の

◇對決場 であるがあれは事實全然なかつた事で一人々々調べられたのである其お調べの後の寬永十一年三月廿七日、關係の伊達安藝、原田甲斐、柴田外記、古內主膳の四名が時の大老酒井雅樂頭の邸に呼ばれ表座敷で段々の古內の來るお調べを待つて居る時に甲斐が安藝に刃傷に及んだそれを見た柴田が又甲斐を切つた

◇其內幕 には芝居以上の込入つた事情があつたらしく芝居では甲斐が大惡漢のやうになつて居るが實はその後に惡人があつて操る甲斐は彼等に操縱されて犧牲となつた形跡がある（東京）

○安東縣賑ふ
全市沸く

一日午前十時より安東神社春季大祭を執行し尙ほ安東デーあり前夜來の雨晴れて一天拭ふが如く祭主以下軍隊警察學校其他の團體定位に着くや最も莊嚴なる祭典を擧げ午後一時より神輿の渡御あり餘興として素人相撲、素人演劇、仁輪加、手踊等演ぜられ大に賑ひたり午後六時より公會堂に於て安東デー祝賀會を催したるが會衆二百名に達し和氣靄々裡に美人連の手踊其他の餘興あり萬歲聲裡に午後八時散會せり夜間は各町電燈にて裝飾し深更まで雜沓殷賑を極めたり（安東電話）

○國民大會連累檢擧

本年三月中より不逞騷擾煽動の陰謀に努め國民大會なる祕密結社を組織し朝鮮獨立の檄を遠し屢々巧に官憲の眼より逃れ居りたる惡徒北道生れ米商李哲敎以下十數名の連累者は此程鍾路署に於て檢擧されたり

○仁川に傳染病
發疹チブス蔓延

仁川花町二丁目四十四番地川瀨龍吉方止宿上野米吉は三十日午後六時發疹チフスに罹り直ちに本町病院に收容され患家は嚴重なる消毒を施されたり之れにて最近數名の該病患者を出したる譯なるが尙益々蔓延の兆あり一般に注意が肝要なるべしと此他最近に於て猩紅熱や赤痢或ひは腸窒扶斯等の發生頻々たるものあり本町病院の收容力は僅に二十餘名に過ぎざるを以て若し將來患者續出せば或ひは新花水の避病舍に收容する事となるやも知れずと（仁川）

○流行の兆ある發疹室扶斯
死亡率は猛烈
不潔にするな

大邱府外製絲工場に雇はるゝ工女が一時に罹つたと云ふので發疹チフス、それが京城仁川方面にも流行の兆を現して來た、仁川府の醫院長は語る

本病の症狀として只突發的に急激な發熱を見るの外一般の者に判別の出來る徵候がない殊に其熱度は

◇四十度近 くに昇つて專門醫でも初めは容易に診斷が出來ぬ場合が多い、而して此高度の熱が四五日を經過すると初めて全身に發疹を現はして麻疹に似た症候を呈する、一番困るのは別にこれが豫防方法として完全なるものがない事で發熱した時には旣に該病に犯されてゐる時であるから何を措いても其處置が

◇一番大切 であるから熱が激しい場合の如きは直に醫師の診察を求めて置くのが安全である此の病氣は非常なる傳染力を有するものであるから餘程嚴重な注意を施さなければ全家悉く罹るの悲慘事に陷らぬとも限らぬ而して其死亡率は二十パーセント乃至五十パーセントの猛烈な勢ひで殊に

◇流行當初 に於て比較的重症なものが多いから決して油斷は出來ない豫防方法としては先づ第一に室內を淸潔にする事、光線の具合に最も留意を要する事、人込み多い場所は成るべく避くる事等は其主なるもので發疹チフスは食物傳染よりも斯の如く空氣傳染に依るものゝ多く殊に塵芥不潔の場所に

◇其傳染力 の偉大なる事に注意しなければならぬ罹病者は年齡の間はず幼きも老たるも一樣であるから此際一般に充分の警戒が必要である（仁川）

○元憲兵の惡事

愛媛縣生當時住所不定鹽出秀助（三〇）は本年二月二十七日平壤憲兵隊を脫し旅行して草梁高橋貞次郎方へ投宿安東縣土木業守下英雄と僞名して三月四日まで滯在したるが當時平北照山郵便局より高橋宛振出したる郵便爲替中より十圓を騙取せしを手初めに四月二十日夜港町米田久米藏留守宅に忍び入りオーバ外十五點（時價四百五十圓）を竊取し酒色に耽りたることが發覺目下平壤署にて取調中なるが此奴は賭博竊盜の前科者にて以前は內地に於て憲兵を奉職せし事ありと（平壤）

演藝

▲黃金館 二代目雲右衛門一行の浪花節、今二日目の讀物左の如し ▲御崎の生立（綾）雲吉▲倉橋傳助（綾）雲外▲不破數右衛門（綾）雲若▲吉岡飛房、綾雲龍▲乃木將軍（雲洲）▲武藏の花（綾）雲峰▲水府公（綾）雲峰▲村上喜劍中山安兵衛（雲右衛門）

▲彌生會淨瑠璃大會 は三、四、五の三日間毎夜六時より開催初日は三日目は妹背山道行し、三日目は次の如し 初山 鈴ヶ森（千代子）鳴門（谷子）宿屋 玉次 柳（しづか）朝顏（愛次）陣屋（三扇）先代萩（玉七）宿屋（ゝ吉）神崎（四助）▲二日目 妹背山井戶替（兒雀）杉酒屋（吹鳴）道行戀の苧手卷（掛合）盛七、盛山 竹に雀（昂月）大切山之段（掛合）▲三日目 先代萩（唐助）八陣（筑枝）辨慶 友笑 鳴門（鶴吉）合邦（長勢）三崎、冠竹、忠臣藏殿中、蝶、裏門 兒雀、扇ヶ谷 山若、二ツ玉 樽 勘平切腹（柴扇）大切 一力茶屋場（總合）三味線龍藏、愛次、三扇、四助

◎ 廣告

撫順炭各地販賣値段持込賃共

市場	炭種	一噸賣値	一叺賣値（十四叺一屯）
鎭南浦	塊炭	一四、七〇	一、九五
	切込	一三、〇〇	一、八五
	粉炭	一三、二〇	
平壤	塊炭	一四、三〇	一、九五
	切込	一三、六〇	一、八五
	粉炭	一二、八〇	
京城	塊炭	一五、〇〇	二、〇〇
	切込	一三、三〇	一、九〇
	粉炭	一三、五〇	
仁川	塊炭	一五、五〇	二、〇〇
	切込	一三、八〇	一、九〇
	粉炭	一三、〇〇	
元山	塊炭	一六、〇〇	二、〇〇
	切込	一四、三〇	一、九〇
	粉炭	一三、五〇	

五月一日ヨリ右改正値段實施可致候

但京、仁地方ハ炭礦上撫順炭供給困難ニツキ日本炭貸付供給可申上哉雖計此場合日本炭價格ハ別ニ發表可致此段及廣告候也

南滿洲鐵道株式會社
京城販賣課出張所

品質 銘酒瓶詰之一大權威

第一 全道各地之需要激增

大阪府堺町
宅合名會社

婦人之友 五月號
住宅問題號

此頃の思ひ……羽仁もと子
異樣の家庭 眞情流露趣味津々たる卷頭の大文字……三宅博士 日向きむ子の再婚を論じて情理兼到る
住宅新築の參考
◎中流住宅の設計早見表……山邊鋼 ◎廊下押入風呂の新工夫……野口保興 ◎立體的に考へた主婦室……矢部文子 ◎風通しの好い安全な家……美代子 ◎衛生的の臺所と其の設備……小野技師 ◎井戶の位置は何がよきか……山下 ◎押入ながら家中を見通す工夫……小林 ◎風當ての中で強い所に建てる家……原 ◎衛生的で氣持のよい便所……小池博士 ◎經濟的な長州風呂の設計圖……翠 ◎電熱器と燒瓦器の臺所……記者
貸家に對する註文 都會の大小の貸家に對する種々の希望と註文、苦情と不平、すべて十八篇
家計の實際的研究 本號には全國各地小學教員の家計の實際を調査した好參考です
主婦必讀 ◎赤坊に牛乳の與へ方……松岡久子 ◎美術洗濯のしかた……河野富子 ◎レース編ハンケチ……大高京子 ◎季節向きの日本菓子……嗣口佐吉 ◎經濟で美味な豚肉料理……田中博士 ◎門の設計圖いろ〳〵……安藤復藏 ◎佛蘭西料理獻立講義……大平 ◎衣類一切の問答……山下榮藏
長篇小說 一絃琴……上司小劍作
長篇小說 幻影……松居松葉作
歷史小說 愛と劍……松本雲舟譯
定價廿八錢 郵稅一錢 半年前金一圓六十八錢 東京雜司ヶ谷 婦人之友社 振替東京六〇〇〇

特選 本セル ハカマ
壹着に付金拾圓 市內御報次第持參 地方送料十二錢
京城日報社代理部

瓦斯管
洋鐵鋼材料 バルブ工具品類 鑛山用品 一般工業用品
カナエパッキング會社代理店
京城南大門通一丁目
合資會社 南方商店
電話長 一六八九 一七五五 振替 一九三四
商報御一報次第送呈

みだれ咲き

第十五回 島山碧波作 森田久畫

朝早くから伯父の出宮が來訪したと云ふ知らせを受け、操子姉弟は女中と共に母屋へ戻つた、ヒヨツとしたら異郷の空に病を養ふ父の病勢に變化を來した爲め、悲しい報告でも齎したのではないかと不過に泣く姉弟は大なる憂慮と、大なる不安の念を抱いて母屋へ戻つた。

『操子と龍雄か、』今執事の松川に聽いたら庭へ運動に行つたと云つたが、二人とも馬鹿に早いのう』と、云つて操子の美しい面をヂロリと見上げた。

『私達は近頃早起を斷行して居りますが伯父様も馬鹿にお早いやうですわね』

『ウン俺も昨今早起きを斷行して居る』

出宮は女中の勸めるコーシーシロップを一息に呑み乾し。

『時に父さんの御病氣も大層快い方だと云ふが昨日の來た手紙では今日あたり退院するさうだ』

出宮は斯う云つて姉弟の顔色を窺つた、が伯父は、年齢の順序から云へば山中家の當主たるべき身でありながら、先代が根岸に圍つて置いた妾腹の子で、然も其の母親が新橋に褄を持つて居た爲め血統と云ふことに重きを置いた先代の山中は、一つ年下の正妻の子欽也に我が家を繼がせ、妾お玉が産んだ清十郎に絶家して居た母方の出宮家を再興さしたのである

『僕の出やう一つで弟の奴は男爵の當主では無いのだ』

まだ山中家が昇爵をせぬ頃、清十郎は酒に心の不平を訴へては亡き父親を怨んだり、山中一家の幸福を呪つたこともあつた、が太腹中の子爵はそんな事には少しの頓着も無く、父の遺言に三倍する財産を分け兄弟の間の圓滑を圖つた爲め、年と共に心も折れて來た清十郎は龍雄が小學を卒業をした頃から親しく出入するやうになつたのである、其の出宮から斯うした質問を受けると操子は返答に窮して默つて居たが。

『さうすると伯父さんはお義母さんが朝鮮へ行つたのを御存知が無いのですか』

龍雄は不思議さうに小首を傾けた。

『ナニ艶子さんは朝鮮へ行つた、お父さんの御病氣を見舞に行つたのだらうが何時出發したんだ、さうと知つて居れば見送りもするのに、どうして艶子さんは僕達にまで斯う冷たい仕打をされるのだらう』と伯父は妙からず憤慨したやうであつた。

『艶子さんにして見れば侯爵の娘と云ふことを鼻に掛て居るのかも知れんが、伯父さんだつて山中一家の者で、然も出宮造船所の所長で、位階は兎に角交際の出來ぬと云ふ程の身分でも無い』

操子は伯父から斯うした不平を聽くのが身を切られるよりも辛かつた、と同時に義母が何のために朝鮮行きを伯父にまで秘密にして其の實父と共に行を共にしたのか判らなかつた。

『第一お前達を連れて行かぬと云ふ事は無い』

『伯父さん、僕は義母様に對して別段悪い感情は持つて居りませんが姉さんが實際可哀想です』

龍雄は年が若いだけに何も彼も此の伯父に打明けてしまつた。

『さうか、昨夜出發たのか』

出宮は暫く考へこ居たが、組んだ腕を解くと双共に操子に向ひ。

『操子、嘘ぢやいだらう、丸で姉さんのやうな人を母と呼んで日を送るのは俺も察して居る』

操子は漸と面を上げ。

『別段辛いと云ふやうなことは御座いません』

力無く打ち消した時、些か聲を潜めた出宮は。

『お前達二人が兩親の許に居るのが辛いやうなら俺の處へ逃げて來なさい、俺が保護してやる』

と、云つてまた操子の擧動に細心の注意を拂つた、どうやら出宮は何か深い考へがあつて姉弟を訪れたらしい。

▲朝鮮發賣元▼ 松の實羊羹 ▲名產 明治屋▼

京城の名物(京城南大門通三) カフエータイガーの洋食 とすき焼

◎砂糖の効能と卵の喰べ方

砂糖は食品としては誰も知つて居る處であるが其外に總ての加答兒に對して消炎の作用を有するものですから感冒とか氣管支加答兒等に特効があります亦咳嗽と緩解して喀痰をさゝるものでありますそれから消肺の効もあるもので何かの

◇間違つて毒なものを喰た時は澤山の砂糖湯を服用するのも應急の手當と効能がありますし疲勞した時にも砂糖分の強い食物を食すれば忘るゝ程頗る有效なものです、次に鶏卵を喰るのに生卵の黄味丈けを食べて白味は全く滋養がないとして喰ないゝがありますが之は大なる間違ひで黄味にせよ白味にせよ等しく滋養に富んで居ます唯黄味の方は充分に滋養があるし白味の方は多少は少いが等しく滋養に富んで居るのであるから黄味も白味も一緒に喰るのが

◇得策である、それから生卵を其儘に食るのと半熟にしたのとは消化の程度が違つて居るから此點にも注意が要します生卵として食るならばこれをよく攪混ぜて泡の立つ様にして食ること又半熟は非常に消化はよいから食膳に上せる時は最も理想的です茹で卵は消化し難く病人等には絶對に禁ずる様にせねばなりません

我等の俳句

漁夫等悄らず唄ひ波がぎら／＼して柳

柳芽ぐむ厳かな石段を一つ一つのほる

○ 金鵄城

柳ぬるゝ夜の思まとまらず

柳烟る一人者去らず頼もし

君よ一人となる柳を感じてもよろしい

○ 眞三

春風の一つ岩まであの波はきつと來る

黑い道が一本眞直で春風が眞向だ

○ 芹郎

春風强ければ牧場の男女蓉せり

見よ春の一室一室風ある如し

柳の伸ぶる芽よ今日の涙をかくさない

水中にたれた芽柳の一日一日の暮れ方

○ 鳥堂

柳日ねもすのマンボーの竹箱

柳が強い陽を浴びてをればてんでの指先

廿五の日十の日會八、四、二五日

○ 芹郎

桃林の明るさの花は過ぎし日にて

春ひもじき父母に寄る夜あらんとして

桃太る眼の前のやはらぎ桃の毛に

茶畑へ來る水を提げた一人の面を見た

○ 紅六二

若葉風ありうれしい蹕立てゝ妹よ

苺が咲いてこる君と語りつゝ日南だ

○ 青泉

或夜二階から木の芽に屆くべし

○ 鳥堂

庭は日々の桔梗の芽矢車草の芽の春

春一日のもぐ犬小屋に犬は居たのだ

擺らない頭で私の春夜がつゞく

私の蒔く種物は草になつて生るぞ

一五の日十の日會、四、三〇一

日報歌壇

○ 野島紹邦坤

呑みし藥にがゝりしかば見つめたる瓶の藥の色濃くもある

皆してみし巻き給の人と語りたき悲しみの湧く春の夕くれ

○ 大東 夢路

ほつれんと海邊に立ちて膨れくる潮見つめつゝ泪ぐみにけり

○

曇り空雨はふらなく外の面をうづまき過ぐる埃かも

風強み埃立てればしかすがに都大路の甃はにごれる

埃つた風強き日の廣町をさすらへの子は急ぎ歩めり

○ 野の人

夜の床に挿しゝ白梅ほの白く匂ふ香りの部屋おちこみつ

うすくらき床の花瓶ゆ匂ひ來る梅の香りのなつかしきかな

○ 白星光

ほのかにも匂ふ梅がかうれしみつ目登めて水なふくむ夜ふかみ

つぶら眼の君と少女子はしけやし東にゆかげまさくんあれ

東路に行かば君はもさびしくて日毎に文も待なむ云へるも

見あげれば空は晴れたりうらくと春のぬくむ日に面はてるかも

○ 舉

大いなる黒ろき瞳にうちめぐる若葉こまかくうつりたりけり

新刊紹介

▼經濟時論(五月號) 銀行合同の急と其方策炭價の前途と、炭礦株各社の合同成績・北勝米の會社と末路?外社…の一共社、(定價廿錢發行所東京市芝區田町)の一共社

▼實業公論(四月號) 朝鮮號と題し朝鮮に關する諸論文を收め、其他にも讀むべき記事あり(定價卅五錢發行所東京市牛込區辨天町四共社)

▼勞働世界(五月號) 勞働組合と共妨害、罷工、職工組合、住宅改良の急務、職工恩給制の私案等(定價廿錢發行所東京市芝區琴平町一共社)

▼電氣界(一三七) 定價廿五錢發行所大阪市北區若松町二六電界社)

▼教育時論(五月號) 定價十二錢(發行所東京市本郷町區飯町四開發社)

▼帝國農會報(四號) 定價十二錢(發行所東京市赤坂溜池一共社)

▼市町村雜誌(三〇五) 定價十三錢(發行所東京市芝區田村町六共社)

▼民本評論(創刊號) 此の雜誌は朝鮮と戰に深き菊池謙讓氏の主宰せる雜誌にして「菊池」の文壇に遠ざかること將に十年、久しぶりにて世人は氏の健在なる文章に接し其の痛快なる議論を聽き以て氏の益々志を天下に行はんとする雄圖に對して恐らく敬慶の念を持ふ事なるべし、本號は小日本の建國と大日本の開國(社說)岡本と民本(同)を初め時事評論其他趣味ある方面に於ても面白き材料に富み全紙を通じて引き締りたる組版りにて殊に文章の雄勁にして非凡なるは此の雜誌の特色、らん(三十錢、東京小石川雜司ヶ谷一二五民本社)

讀者の領分

▲何うして讀者文藝が出ないのだらう、記者さん、探したいのですか、それから何か、お答を御願ひ致します、此投書が時を掲載せずに、既に見限な期して、待せて頂き度くあります、で、御願ひ致します(文藝狂代表者)▲赤ら、恋に致します、に済みません近く始める事に致します、(係)▲列車ノ一個にも停くものは、人の歩み上りの如き男、頭には帽子なき歩むものゝうげに、便所にも入らんとして戸を動かせども開かず、側に居るども見て答へず、見るに忍びず立ちて掛み、購入非常に窮して、居られきやりたり、人間の愉さして人を救ふは道、然も鐵道に身を置きかけにも寄として見るべきものに對し、かくの如き行爲あるは許すべからず、殊に今回の暴動を目撃し、内面同化を口にしながら、かくの如き行動は悔むべき事極まる、今回の暴動も、あながち鮮人の罪のみにあらず心ある人の窓口に訴へ、敢て當者の注意を待つ(一少女)▲拙者は市内南大門通り、某銀行の口座顧客なるが去る二十三日十圓紙幣を以て、小額紙幣と交換を依頼せしに、小札なき旨を以て拒絶されたり、然るに同人の前には十圓二十圓の小札數十圓を置きながら、低下を以て斷るとは、實に不親切極まる仕儀である、敢て當事者の御注意を乞ふ(銀行家)▲[illegible]も平行の人のないのが、悲しまれます[illegible]の家庭、人なら數人でも入れない丁小役人の奥さんや、[illegible]の如きが細布にまかれてゐる所が、すゝ湯に行く時でも金の指輪二三本をはめてゐる人がありますが、どうしたらあんな華美な風の出來るのでせう(愛ふ子)

◇大連便り◇

◇市役所移轉 大連市役所は[illegible]に次いで、[illegible]關東廳事務總長代理及び中野大連民政署長、滿鐵社長代理、相生[illegible]より西公園[illegible]、恰も好天氣に加へ[illegible]にて參會者中多く式後[illegible]

◎大阪財界便り

▲貿易閑散 前年の同期と比較すれば左表の如く輸出に於ては激減し輸入に於ては[illegible]

大阪港 輸出 輸入 [illegible]

[illegible]を見るに鐵道の輸送力は貨車の配給宜しきを得たる一時の如く構内の[illegible]ざる事は勿論である梅田驛に於ける現象にして出貨の増加は寒心すべきものではないこを表示すれば[illegible]の増加は[illegible]商品の増加を意味する[illegible]

▲暗雲低迷 右の如く金融界もスペースの遊剰に苦む[illegible]商品、貿易、運輸[illegible]の變調を呈し[illegible]思はる要するに財界の一方に低迷[illegible]

これから夏にかけて 腦病患者の危機

▲はがき一本で逃れられる
▲一刻を競ふ緊急治療法

▓健腦なく何の己が青葉哉 少し云ひ廻しが下手であるが、是は全く腦病患者の、偽らざる告白であらう。是は例の『酒なくて何の己が花見哉』と『目に青葉、山時鳥、初鰹』とを折衷したものらしい。

▓こんな風にして人間は罪を犯す 實際生きてゐる以上は、あらゆる權力金力を超越した絶對の誇りは他なし。『健康』である。『眞の健康』とは何を意味するかと云へば『健全なる精神は、健全なる肉體に宿る』と謂はれた通り『頭のよい事』より外の意味はない。實に人間が恐るべき罪を犯すのは、云ふ迄もなく頭腦に缺陷があるからである。

▓頭の悪い人の大方通る徑は 聲の低い雲が消ゑて、碧い空に描き出された青葉を見つめて居ると、氣が涼しくなるのが當り前なのだが、何となく物憂くて頭重く、却つて眠氣を催してコメカミがズキズキと痛み、急に逆上たりすると眼が眩む。だん／＼頭痛が激しくなると、嘔吐、氣持が悪くして耳鳴する、腹が立つて氣が苛々として、絶へず頭部から抑へつけられる様な強迫觀念に襲はれる。

▓落ちて行く先にたゞ死があるばかり そうこうする中に、追々夜は眠れない。一寸睡のんだかと思ふと、直ぐ惡夢に襲はれ驚されて、吃驚して眼を醒ますと、べつとりと冷汗が出て居る。日は漸時に冴わて行くに反して頭は次第に暗くなつて、妄想が纏綿と浮かぶ、業務に手が付かれない。その中に努力、記憶力、判斷力が稀薄となり、前途の絶望の淵深く鎖られて、自棄となつて、只死を待つ許りの愚に陷るのである。

▓之からが危い一刻を延せば終生の不幸 こんな具合の人は、明かに腦神經衰弱症、或はより深い腦病に犯されてゐるのであるから、一年中の不快時、『梅雨期』を前に控へてゐる目下が一番危機であつて、此時に於いて腦病良薬レーベンの如き、リンサンを多量に含有せる良劑を常用して治療するのが最も安全である、一刻でも措いては、もう取り返しがつかない。善は急げとは此處の事である。

▓有益に時間と金とを使へば生涯の幸運が定る 賢い人間とは昔から、僅かな時間と金とを最も有効に消費した人達の事である。若し頭の故障で日々に苦しんで居る人は、葉書一本で專門大家の門をたゝく様な、親切丁寧な二冊の治療書を無代で進呈するから、早速申し込まれるがよい。

▓腦神經衰弱療法と精神療法の二冊 この二冊の書こそ、最も高價な腦の營養薬リンサンを多量に含んでゐる本邦唯一の稱ある『誠實一心』に製造された腦病良薬レーベンを、苦心研究の揚句發明された、醫學士常持篤氏と増田醫學博士森醫學士等の述べられた最善の治療書であるから何を措いても精讀さるゝ必要がある。

▓特異な効能生命の原動力は是！ 腦病良薬レーベンは、前にも一寸述べた通り高價な貴重薬品であつて而も米食の日本人に最も適應する、植物性原料から創されてゐるから腦病や神經衰弱は勿論、ヒステリーの婦人にも特に推奨するものである。うづ高い快癒者からの證狀と醫學博士岡田先生を初め、諸家の効驗證明書とは、幾多の不幸な腦病患者を救濟した過去のレーベンの功績を、末長く記録に留めるものであつて、この救世主は今や世界的の聲を喚して全世界にゝたいて、腦病患者の最大多數を占め居る米國に於ても赤噴々たるの評判となり、遠くロビンソン博士は書を寄せて其の卓効を證明せらるる等、眞に現今に於ける絶好の民間藥たるは本レーベンあるのみである、論より證據、今直に服用あれ。

▲一刻も猶豫なく、直ちに前の二冊の良書を申し込まれよ。而してレーベンを服用せられよ、僅に一圓の金を惜んで貴重の生命を失ふ勿れ。

▲レーベン藥價は、三十錢、五十錢、八十五錢、一圓、一圓六十錢、三圓、五圓五十錢、内地送料無料

▲世界各地到處の信用ある藥店にあり若し無くば本舗へ

申込所 東京市京橋區弓町二三 振替東京七七七番 大阪市東區安土町堺筋 振替大阪三四四番 中南定太郎 電話 東京(京)三〇八、四六八九 大阪(本)三〇〇七番

京城義州通一丁目 小野鼈甲類專門分工場 電話二四三番
▲鼈工場製品は品質本位とし價格も亦最も低廉なり

内科小兒科 梅毒淋病 小兒病院 京城櫻井町通 電話二二二四
六〇六 淋病 喘息 マラリヤ 百日咳 其他 隨時注射

春の風引には

大學病院 摸範方劑 KAZEPIRIN 解熱 完全劑 東京 風 カゼピリン
本舗 淺野榮天堂藥局
朝鮮滿洲各地の特約店にて販賣す
證保効有等官府調劑

大阪市 進呈 三休橋 りん病 はりめ毒 大阪 有田ドラッグ
藥 病藥王 りん病藥王 梅毒藥王 藥は治癒 と云ふ 醫科大學病院 …
分折料 百圓 進呈
◎あらゆる治療も効なき悪疾は一度來談あれ
大阪 有田 にせ物あり 取扱を買はれ
京城南大門外停車場通 有田ドラッグ滿鮮本部 (長電話二八三三番)
京城黄金町三丁目電車通 有田ドラッグ 支店
龍山練兵場前 支店
釜山大廳町三丁目 支店
元山本町三丁目 支店
平壤櫻町十三番地 支店
仁川宮町二丁目 支店
大連岩代町 支店
◎朝鮮のにせ物 京城、龍山、仁川等各地ににせドラッグあり購着せられざる様御注意を乞ふ
全國の都市に支店あり 講合藥品他藥店に販賣不許
松 グッラド 田 有 東京日本橋通四

專賣特許 男女ひみつ病
生殖器機能障害、發育不完全、神經衰弱、りん病、包皮コシケ消カチは多數博士證明の最新療法等で自宅で安全手輕に癒治す 説明書無代進呈
東京市京橋區木材木町三の廿五 新療法研究所 奉天富士町十二 東和公司 ●京城西小門 渭信商會

内科 胃腸病科 診察夜九時迄 京城本町一丁目 石川醫院 電話二三七二九〇九番

優等清酒 一鶴
京城永樂町二丁目 本莊酒店 電話八五四番
仁川京町 本莊支店 電話二二六番
安東驛大和橋通 本莊支店 電話一一七番

皮膚科 肛門科 京城明治町二丁目(元黄町) 電話一七一三番
皮膚徽毒 病皮膚 痔疾脱肛 病肛核 入院隨時診察夜九時マデ
佐藤病院

優美にして堅牢且輕便と云ふ條件は獨りパイン萬年筆に於てのみ具有す
横形 金輪 八圓八十錢 六圓八十錢 四圓九十錢 特別 學生號 三圓八十錢 二圓八十錢 (九十五錢)
發賣元 京城大平通 京城日報代理部 振替京城三〇〇二番

痔疾專門 京城明治町二丁目(本町より入る中央) 京城久枝肛門病院 電話一一〇二番

糸卸 各種裁縫糸一式・レース糸・みすや針並附屬品 京城北米倉町 ビワコ屋糸店 …薄利多賣… 電話五〇五番・振替京城六六五番

資本金壹千萬圓
年賦又は定期償還方法に依る勸業資金貸出の外一般商業金融業務を取扱申候
京城南大門通二丁目
株式會社 朝鮮殖産銀行
頭取 三島太郎
電話 長六〇一、四〇九番 營業振替貯金口座四一〇九番 道金庫振替貯金口座特二三番
支店 開城、清州、忠州、公州、鳥致院、大田、論山、江景、全州、裡里、井邑、金堤、南原、光州、木浦、羅州、濟州、晉州、統營、大邱、金泉、尚州、釜山、馬山、統營、海州、平壤、鎭南浦、安州、義州、新義州、咸興、元山、城津、沙里院、青津、春川、鐵原、江陵
右の外内地朝鮮滿洲支那各地に爲替取引先有之候

大阪商船出帆 (仁川出帆)
大阪行 △安東丸 五月 五日 正午 △薩摩丸 五月 二日 正午
(元山出帆) 釜山、門司、宇品、神戸、大阪行 △宮島丸 五月一日 後十一時 △安平丸 五月十一日 後九時
(大連出帆) 上海行 △湖北丸 五月五日 前六時 △基隆丸 …
内地各港出帆主要航路 歐洲行 毎月一回 北米行 毎月一回 南米行 一年四回 孟買行 毎月一回 南洋行 毎月一回
◎外航所船航路 (航路を除く) ……
御仕込 京城 内外通運會社支店 仁川 京仁通運會社 電話二三九 …
大阪商船株式會社仁川支店 電話一〇八番

貸化病院 京城明治町一丁目 電話二四番
内科 小兒科 入院隨意 施療す 毎日五名を限る
醫學博士 古城憲治
金澤醫學士 打田義方

最上醬油 朝鮮仁川 高杉醬油釀造場

大日本ゴム株式會社製 自轉車用 タイヤ 28吋 飴色 保證
一組特價 九圓五十錢 小包料 二十四錢 ●特價提供 石五十組
京城大平通 京城日報代理部 振替京城三〇〇番